

第2回 一関市教育振興基本計画検討委員会 次第

日時：令和7年9月4日(木) 午後2時～午後4時

場所：花泉支所 2階 201・202・203 会議室

1. 開 会

- ・前回の振り返りについて

2. ワークショップ

- ・各グループ自己紹介
- ・進め方について
- ・意見交換

3. その他

4. 閉会

ワークショップの開催について

1 趣旨

- ・第1回検討委員会で共有された本市の教育に関する現状と課題を踏まえ、今後の施策の方向性を探るため、委員によるワークショップを実施する。

2 目的

- ・学校教育、社会教育、文化財などの分野別に現状と課題を具体的に話し合い、その中から施策の基本方向や重点施策、優先的に取り組むべき施策を探る。

3 グループ編成

委員を以下の3グループに分け、議論を行う。

資料①：グループ編成

資料②：ワークショップのテーマについて

	ファシリテーター	説明員	記録員
学校教育グループ1 (教育の推進)	学校教育課長	指導主事	学校教育課
学校教育グループ2 (教育環境の整備)	教育次長	教育総務課長、指導主事	教育総務課
社会教育・文化財グループ	一関図書館長	文化財課長、博物館次長、いきがづくり課長	文化財課、いきがづくり課

4 到達目標

(1)基本目標

- ・各分野における現状・課題を委員間で共有・認識し、課題解決に向けた望ましい取り組みの方向性について、多様な意見を引き出す。

※意見集約（コンセンサス形成）までは行わず、活発な意見交換を主眼とする。

(2)重点施策への意見集約

- ・各課の指定する重点施策について、ファシリテーターは必ず意見を求めることとする。
- ・時間的な制約から各グループに共通するテーマは設けない。

資料③：ワークショップ記録用紙

5 当日の次第

資料④⑤：ワークショップの進め方

14:00-14:15 開会、教育長挨拶、事務局説明

14:15-15:50 ワークショップ（意見交換）

15:50-16:00 御礼、事務局連絡、閉会

6 使用資料

◆事前送付

資料⑥：委員配布資料イメージ

- ・開催案内
- ・ワークショップの進め方に関する説明資料
- ・ワークショップ班分け資料
- ・ワークショップ事業対象一覧（事務事業評価資料を担当部分だけにしたもの）
- ・追加意見・要望等について（用紙）

ワークショップ班分け

名簿（班ごと）

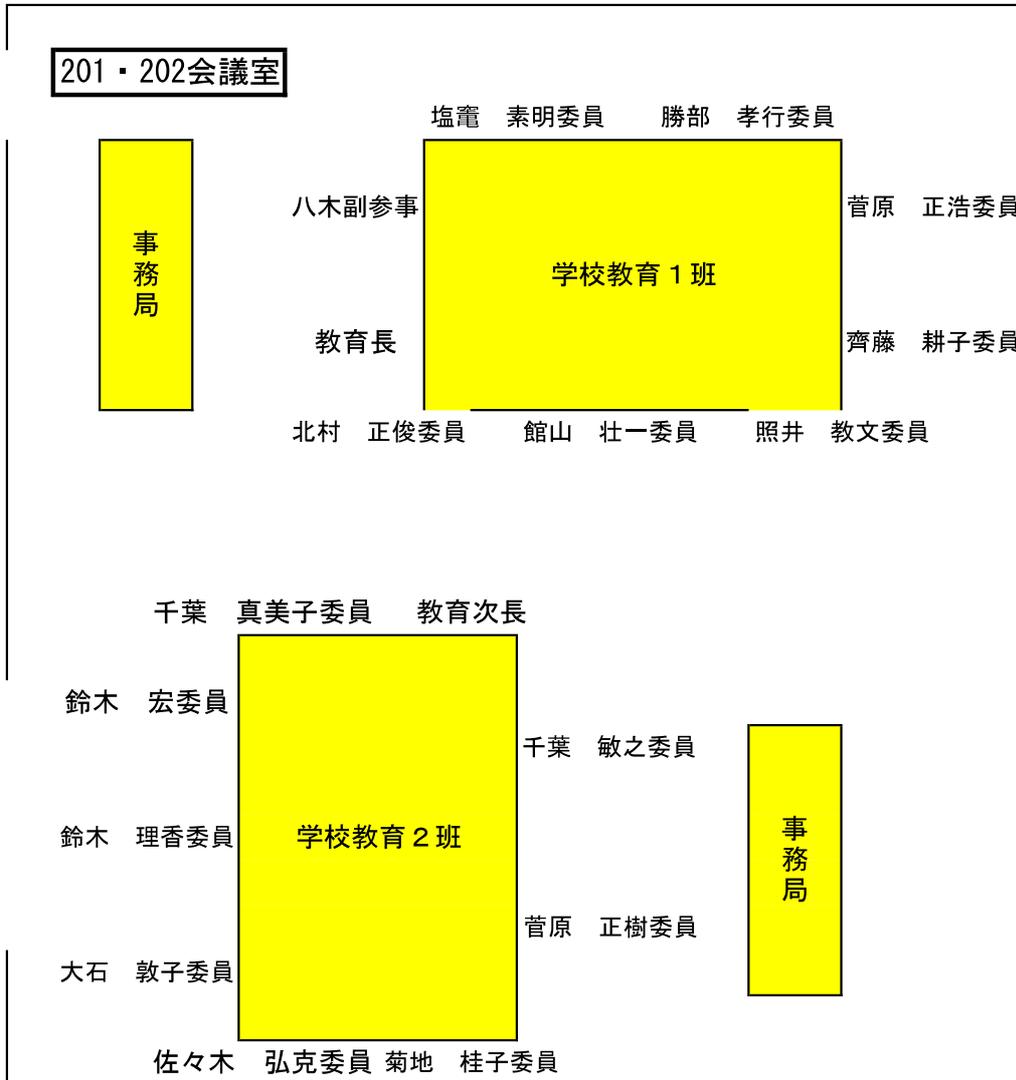
分野	班	推薦、所属団体等	役職	名前
学校教育	1			塩竈 素明
		一関地方校長会	桜町中学校 校長	勝部 孝行
		一関地方校長会	大東中学校 校長	菅原 正浩
		岩手県立一関清明支援学校	岩手県立一関清明支援学校 千厩分教室 副校長	齊藤 耕子
		一関工業高等専門学校	副校長（学生担当）	照井 教文
				館山 壮一
		県南教育事務所	在学青少年指導員	北村 正俊
		事務局	教育長	時枝 直樹
			副参事兼学校教育課長	八木 浩司
			学校教育課	指導主事
			学校教育課	記録員
		学校教育	2	一関市立幼稚園園長会
一関地方校長会	一関小学校 校長			菅原 正樹
一関地方校長会	藤沢小学校 校長			菊地 桂子
				佐々木 弘克
岩手県高等学校長協会一関支会	岩手県立大東高等学校 校長			大石 敦子
				鈴木 理香
				鈴木 宏
				千葉 真美子
事務局	教育次長			千葉 せつ子
	教育総務課長			千葉 邦雄
	学校教育課			指導主事
	教育総務課			記録員
社会教育	3			千葉 喜代一
				菊地 ワカ子
				岩本 智美
				八巻 徹
				森 英隆
		事務局	一関図書館長	藤倉 忠光
			副参事兼文化財課長兼骨寺荘園 室長	氏家 克典
			副参事兼一関市博物館次長	佐々木 修路
	いきがづくり課長	小野寺 和宏		
	文化財課/いきがづくり課	記録員		

花泉支所2階

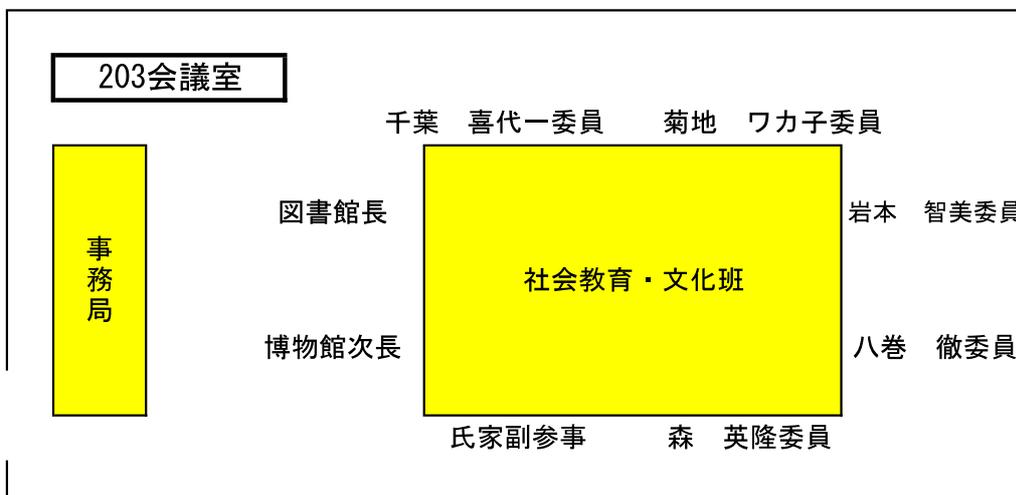
第2回 教育振興基本計画検討委員会 会場配置図

R7.9.4(木)

14:00~



廊下



ワークショップの分野（テーマ）

グループ	担当分野					
	分野（テーマ）	時間目安	重点項目	課題項目 (第1回会議「資料②事業計画評価シート一覧」参照)		
学校教育①	1-1	確かな学力を育む教育の推進	10分	★	1-1-1 確かな学力の定着と向上 1-1-2 教員の授業力の向上	
	1-2	豊かな心を育む教育の推進	20分		1-2-1 道徳教育、体験活動の充実 1-2-2 福祉・ボランティア教育、環境教育の充実	
	1-3	健やかな体を育む教育の推進	10分	★	1-3-1 健康教育の充実 1-3-2 学校給食と食育指導の充実 1-3-3 学校体育の充実	
	1-4	社会の変化に対応した教育の推進	30分	★ ★	1-4-1 キャリア教育の充実 1-4-2 国際理解教育、科学技術教育の充実 1-4-3 情報教育の推進 1-4-4 復興教育と危機管理体制の充実	
	1-5	魅力ある学校づくりの推進	10分	★	1-4-5 学校規模の適正化 1-5-1 地域とともに歩む学校づくり 1-5-2 特色ある学校づくり	
	学校教育②	1-6	自立して生きる力を支援する教育の推進	20分	★	1-6-1 特別支援教育体制等の充実 1-6-2 不登校対応の充実 1-6-3 いじめの防止
		1-7	特色ある幼児教育の推進	5分		1-7-1 特色ある幼児教育の推進
		1-8	ことばの力を育てる教育の推進	15分	★ ★ ★	1-8-1 「ことばと読書」に関する取組 1-8-2 「ことばの響き」に関する取組 1-8-3 「ことばの先人」に関する取組
		2-1	多様な学びを支える教育環境の整備・充実	15分		2-1-1 教育環境の充実 2-1-2 学校の安全、安心体制の整備
				15分		2-1-3 教育機会の確保
10分				★	2-1-4 教員の働き方改革	
社会教育・文化財		3-1	社会教育の充実	15分		3-1-1 社会教育の充実
	3-2	家庭と地域の教育力向上の推進	15分	★	3-2-1 家庭教育の充実 3-2-2 地域全体で子どもを育む環境づくり	
					3-3-1 社会教育環境の充実 3-3-2 指導体制の充実	
	3-3	学習環境の充実	5分		3-4-1 学習ニーズに対応した読書環境の充実 3-4-2 地域の特色を生かした図書館の運営	
	3-4	図書館運営の充実	15分	★	3-5-1 地域の歴史・文化の学習支援 3-5-2 歴史・文化に親しみやすい環境づくり	
					4-1-1 文化財の保存・活用 4-1-2 地域文化の伝承	
	3-5	博物館等機能の充実	10分	★	4-2-1 骨寺村荘園遺跡の保護 4-2-3 世界遺産拡張登録の推進	
4-1	文化財の保護・地域文化の伝承	10分	★			
4-2	骨寺村荘園遺跡の保護と世界遺産拡張登録推進	10分	★			

第1回検討委員会配布資料

資料⑤

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当・係	頁	R7 評価										
1-1-1-1	確かな学力育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導やティーム・ティーチングなど個に応じた指導の推進 ・算数、数学を重点にした学力向上対策の推進 ・市独自の学力調査（CRT）と全国・県学習定着度状況調査の分析 ・家庭における学習習慣形成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な実績 ・日本学校教育学会支援事業の活用 <table border="1"> <tr> <td>R3実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査(CRT)と全国・県学習定着度状況調査の分析 ・授業改善パンフレットの活用 ・研究所との情報交流会(R7・4回) 	R3実績	算数数学学力向上研修会(2回)	R4実績	算数数学学力向上研修会(2回)	R5実績	算数数学学力向上研修会(2回)	R6実績	算数数学学力向上研修会(2回)	R7実績	算数数学学力向上研修会(2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・算数数学学力向上研修会を活用し、授業改善及び指導力向上に貢献した。 ・各学校において、学力調査の分析に基づき「確かな学力育成プラン」を作成し、補充指導や個別指導等を実施した。 ・授業改善パンフレットを改訂し、教員の実務に、より資するものとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもを主語にした学び」の実現に向けた、一層の授業改善の促進。 ・標準学力検査(CRT)と全国・県学習定着度状況調査の結果に基づき、つまづきや誤答の分析を深め、改善策を講じること。 ・家庭における学習習慣の形成に向け、児童生徒が主体的に取り組めるよう工夫すること。 	学校教育課 指導班	31	B
R3実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
R4実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
R5実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
R6実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
R7実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
1-1-1-2	学びの活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学びを支援する学習支援員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な実績(子育支援員配置) <table border="1"> <tr> <td>R3実績</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>3名</td> </tr> </table>	R3実績	6名	R4実績	4名	R5実績	4名	R6実績	4名	R7実績	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生を対象に個別指導、補充指導、添削指導等を実施した。 ・生徒の実態や単元の学習内容に応じ、習熟の程度に合わせた指導や個別指導を充実させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導を徹底し、発展的な問題は授業内で扱うことにより、児童生徒の学力向上を図ること。 ・事業の趣旨(1・2年生が対象)について、各校の関係職員への周知徹底。 	指導班		B
R3実績	6名																	
R4実績	4名																	
R5実績	4名																	
R6実績	4名																	
R7実績	3名																	
1-1-2-1	教員の授業力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を指導、助言する学習指導専門員の訪問指導 ・教員を構成員とした教育研究所研究員部会による調査研究 ・研究指定校による学校公開 ・指導主事による校内研究会等への訪問指導 ・授業力向上のための研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な実績(学習指導専門員の学校訪問指導回数) <table border="1"> <tr> <td>R3実績</td> <td>計220回(1校平均5回)</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>計215回(1校平均5回)</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>計163回(1校平均5回)</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>計172回(1校平均5回)</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>計175回(1校平均5回)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年小学校4校、中学校2校による学校公開・総合訪問 ・各学校における校内研究会 ・算数・数学学力向上研修会 	R3実績	計220回(1校平均5回)	R4実績	計215回(1校平均5回)	R5実績	計163回(1校平均5回)	R6実績	計172回(1校平均5回)	R7実績	計175回(1校平均5回)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観を通じ、授業改善のための具体的な指導を実施した。 ・研究所研究員部会において専門部会を設置し、研修会で成果物と共に実践発表を行った。 ・2年指定の学校公開では、指導主事が学校の研究に参画し、連携して研究を推進した。 ・研修会を通じ、算数・数学の授業の在り方を学ぶ機会を提供し、授業改善に繋げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問の際に個別面談を中心とした継続的な指導を行い、教員の授業力向上を図ること。 ・ICT専門員、学習指導専門員、指導主事の学校訪問による、ICT活用及びコミュニケーション能力の向上に関する指導助言の実施。 ・研修会において「子どもが自走する授業づくり」の具体例を提示し、授業改善を促進すること。 	学校教育課 指導班		A
R3実績	計220回(1校平均5回)																	
R4実績	計215回(1校平均5回)																	
R5実績	計163回(1校平均5回)																	
R6実績	計172回(1校平均5回)																	
R7実績	計175回(1校平均5回)																	

各分野ごとに現状と課題を認識し、課題解決に向けて望ましい取り組み方向に関する意見を頂くもの
個別項目ごとではなく、小項目（例：確かな学力の定着と向上）ごとに意見を頂く

ワークショップの進め方について

■次第

時間	内容	担当
14:00-14:10	1 前回検討委員会について（まとめ・振り返り） 2 ワークショップについて（開催意図・全体的な進め方）	教育総務課
14:10-14:15	3 各グループ 自己紹介	ファシリテーター
14:15-15:50	4 ワークショップ (1)担当範囲（重点事項を中心） (2)他班範囲（時間的余裕がない場合は割愛）	
15:50-15:55	5 御礼	教育総務課
15:55-16:00	6 今後のスケジュール説明	教育総務課

◆備考

- ・ワークショップそのものに時間を配分するため、冒頭における教育長や会長等の挨拶などの行事事項は行わない。
- ・各班に分かれた状態で始めることとし、進行は各ファシリテーターによる。
- ・委員長・副委員長及び教育長もワークショップ各班に入って頂く。
※委員長・副委員長は委員として討議に加わって頂くが、教育長は事務局側参加。
- ・15:00～15:15を目途に休憩を入れる。

ワークショップのテーマについて

◆テーマ進行

- ・テーマは現事業評価における「中項目」とし、テーマごとに進行を行う
- ・基本的に質問回答の形は取らず、ご意見のみを頂く形で進行する
- ・別紙様式で後日ご意見を頂くことも可能である旨予めアナウンスし、進行は配分時間を意識し、各領域のテーマに幅広い意見を頂くことを最重視する
- ※特に他班担当分野については、時間的な余裕がないと思慮されることから、基本的に別紙様式にて別途提出とする

◆資料の事前配付

- ・事業評価一覧の各班該当部分のみ抜粋したものを各々の所属班ごとに事前送付

◆項目分類（中項目単位での指定）

- ・必ず議題とする重点項目（各課指定）については、ファシリテーターが個別に触れるものとし、委員へ意見を求めることとする
- ・担当グループ外のテーマについては、時間的余裕を鑑みながら対応する

◆分担

班分け	分類	担当内容
学校教育① グループ（主として教育の推進）	分野	大項目：【社会を生き抜く力を育む学校教育の充実】 主担当：中項目「1-1 確かな学力の定着と向上」～「1-5 魅力ある学校づくりの推進」 副担当：中項目「1-6 自立して生きる力を支援する教育の推進」～「2-1 多様な学びを支える教育環境の整備・充実」
	進行	学校教育課長
	説明員	学校教育課指導主事他
	記録員	学校教育課（1名）
学校教育② グループ（主として教育環境の整備）	分野	大項目：【社会を生き抜く力を育む学校教育の充実】 主担当：中項目「1-6 自立して生きる力を支援する教育の推進」～「2-1 多様な学びを支える教育環境の整備・充実」 副担当：中項目「1-1 確かな学力の定着と向上」～「1-5 魅力ある学校づくりの推進」
	進行	教育次長
	説明員	教育総務課、学校教育課指導主事他
	記録員	教育総務課（1名）
社会教育・文化財グループ	分野	【ともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進】【誇りと愛着を醸成する文化の継承】 ①社会教育の推進 ②文化財の保護と活用
	進行	一関図書館長
	説明員	博物館次長、文化財課長、いきがづくり課長
	記録員	文化財課（1名）、いきがづくり課（1名）

◆各課協力依頼

- (1)説明員：学校教育課指導主事（2名）
- (2)記録員（各1名）：学校教育課、教育総務課、文化財課、いきがづくり課

ワークショップの進め方

(1)最初に分野（テーマ）ごとの課題項目の現状と課題について、質問を受ける。 （ペーパー事前配布として、説明は省略する。）
（例）進行…最初に「確かな学力の定着と向上」の分野をテーマに意見交換をお願いします。まず、皆様に事前配布した資料の内容について、ご質問を受けたいと思います。なお、ここでは、内容の質問に限らせていただきます。 ※…と書いていますが、どういうことですか など
(2)次に各委員一人ずつ、分野について、意見をいただく。 ※意見でなくても、質問的なことでも良い。
（例）進行…それでは「確かな学力を育む教育」の分野について、こうあればとか、このようにとか、想いであるとかご意見や感じる事など、 また、事務局が準備した課題項目以外にも、「確かな学力を育む教育」として、こんなことも課題でないかと思う事など、なんでも結構です。 ご意見がある方は、挙手をお願いいたします。 委員…学力向上の基礎として、ことばの力を高めることは必要 など
(3)委員全員から発言いただいた後に、さらに発言のある方からご意見をいただく。
（例）進行…各委員からご意見をいただきました。ここでさらに各委員の意見を聞いて感じたことや追加して発言したいことがあればお願いします。 委員…〇〇という意見がありました、この部分は大切だと思います。 委員…議論 進行…ご意見ありがとうございました。それでは、次のテーマについて、考えていきたいと思います。次は「教員の授業力の向上」です。
(4)最後に
（例）進行…本日は、「〇〇」「〇〇」について、またその課題項目について、様々なご意見、議論をいただきました。いただきました意見、提言について事務局がまとめまして、施策の基本方向、重点施策、取り組むべき施策等に関する案のたたき台を作成しますので、次回の会議でご審議いただきたいと思います。本日は大変ありがとうございました。

【その他】

- (1)適宜休憩をとって進める。1時間終了後に10分程度等
- (2)全体的なタイムキーパーは行わない。(進行役に委ねる。)
- (3)3時50分には終了するよう進行に努める。途中であっても、一旦切る。
- (4)時間内に終了しない場合は、〇月〇日までにペーパーで意見をいただくことにする。

事業評価シート一覧（学校教育・1班）

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価										
1-1-1-1	確かな学力育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導やティーム・ティーチングなど個に応じた指導の推進 ・算数、数学を重点にした学力向上対策の推進 ・市独自の学力調査(CRT)と全国・県学習定着度状況調査の分析 ・家庭における学習習慣形成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な実績 ・日本学校教育学会支援事業の活用 <table border="1"> <tr> <td>R 3実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> <tr> <td>R 4実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> <tr> <td>R 5実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> <tr> <td>R 6実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> <tr> <td>R 7実績</td> <td>算数数学学力向上研修会(2回)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査(CRT)と全国・県学習定着度状況調査の分析 ・授業改善パンフレットの活用 ・研究所との情報交換会(R7・4回) 	R 3実績	算数数学学力向上研修会(2回)	R 4実績	算数数学学力向上研修会(2回)	R 5実績	算数数学学力向上研修会(2回)	R 6実績	算数数学学力向上研修会(2回)	R 7実績	算数数学学力向上研修会(2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・算数数学学力向上研修会を活用し、授業改善及び指導力向上に貢献した。 ・各学校において、学力調査の分析に基づき「確かな学力育成プラン」を作成し、補充指導や個別指導等を実施した。 ・授業改善パンフレットを改訂し、教員の実務に、より資するものとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもを主語にした学び」の実現に向けた、一層の授業改善の促進。 ・標準学力検査(CRT)と全国・県学習定着度状況調査の結果に基づき、つまづきや誤答の分析を深め、改善策を講じること。 ・家庭における学習習慣の形成に向け、児童生徒が主体的に取り組めるよう工夫すること。 	学校教育課 指導班	31	B
R 3実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
R 4実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
R 5実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
R 6実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
R 7実績	算数数学学力向上研修会(2回)																	
1-1-1-2	学びの活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学びを支援する学習支援員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な実績(学習支援員の配置) <table border="1"> <tr> <td>R 3実績</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>R 4実績</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>R 5実績</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>R 6実績</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>R 7実績</td> <td>3名</td> </tr> </table>	R 3実績	6名	R 4実績	4名	R 5実績	4名	R 6実績	4名	R 7実績	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校に学習支援員を配置し、1・2年生を対象に個別指導、補充指導、添削指導等を実施した。 ・生徒の実態や単元の学習内容に応じ、習熟の程度に合わせた指導や個別指導を充実させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な問題の反復指導を徹底し、発展的な問題は授業内で扱うことにより、児童生徒の学力向上を図ること。 ・事業の趣旨(1・2年生が対象)について、各校の関係職員への周知徹底。 	学校教育課 指導班		B
R 3実績	6名																	
R 4実績	4名																	
R 5実績	4名																	
R 6実績	4名																	
R 7実績	3名																	
1-1-2-1	教員の授業力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を指導、助言する学習指導専門員の訪問指導 ・教員を構成員とした教育研究所研究員部会による調査研究 ・研究指定校による学校公開 ・指導主事による校内研究会等への訪問指導 ・授業力向上のための研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な実績(学習指導専門員の学校訪問指導回数) <table border="1"> <tr> <td>R 3実績</td> <td>計 220 回(1校平均5回)</td> </tr> <tr> <td>R 4実績</td> <td>計 215 回(1校平均5回)</td> </tr> <tr> <td>R 5実績</td> <td>計 163 回(1校平均5回)</td> </tr> <tr> <td>R 6実績</td> <td>計 172 回(1校平均5回)</td> </tr> <tr> <td>R 7実績</td> <td>計 175 回(1校平均5回)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年小学校4校、中学校2校による学校公開・総合訪問 ・各学校における校内研究会 ・算数・数学学力向上研修会 	R 3実績	計 220 回(1校平均5回)	R 4実績	計 215 回(1校平均5回)	R 5実績	計 163 回(1校平均5回)	R 6実績	計 172 回(1校平均5回)	R 7実績	計 175 回(1校平均5回)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観を通じ、授業改善のための具体的な指導を実施した。 ・研究所研究員部会において専門部会を設置し、研修会で成果物と共に実践発表を行った。 ・2年指定の学校公開では、指導主事が学校の研究に参画し、連携して研究を推進した。 ・研修会を通じ、算数・数学の授業の在り方を学ぶ機会を提供し、授業改善に繋げた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問の際に個別面談を中心とした継続的な指導を行い、教員の授業力向上を図ること。 ・ICT 専門員、学習指導専門員、指導主事の学校訪問による、ICT 活用及びコミュニケーション能力の向上に関する指導助言の実施。 ・研修会において「子どもが自走する授業づくり」の具体例を提示し、授業改善を促進すること。 	学校教育課 指導班		A
R 3実績	計 220 回(1校平均5回)																	
R 4実績	計 215 回(1校平均5回)																	
R 5実績	計 163 回(1校平均5回)																	
R 6実績	計 172 回(1校平均5回)																	
R 7実績	計 175 回(1校平均5回)																	

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																								
1-2-1-1	道徳教育・特別活動推進事業	・豊かな心を育む道徳教育の充実 ・自然体験、社会体験活動の充実	・主な実績 ① 道徳教育全体計画を作成している学校数、 ② 自然体験 ③ 社会体験活動を取り入れた学校数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①福祉・ボランティア教育</th> <th>②自然体験</th> <th>③社会体験活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>44校</td> <td>39校</td> <td>39校</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>43校</td> <td>43校</td> <td>43校</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> </tr> </tbody> </table>		①福祉・ボランティア教育	②自然体験	③社会体験活動	R3実績	44校	39校	39校	R4実績	43校	43校	43校	R5実績	35校	35校	35校	R6実績	35校	35校	35校	R7実績	35校	35校	35校	・全小中学校で道徳教育全体計画が作成され、年間35時間の道徳の時間を要に、学校の教育活動全体で道徳教育が推進されている。 ・令和6年度の東北道徳教育研究大会岩手大会（会場：萩荘小・中学校）において、研究成果を県内外へ共有した。 ・集団宿泊活動や社会体験学習等を教育課程に位置付け、学校ごとに特色ある活動を推進している。	・児童生徒が主体的に「考え、議論する道徳」の実践を推進するため、教員の校内協議や他校の実践からの情報収集に努めること。 ・学校行事や他教科との関連を明確にし、カリキュラム・マネジメントを意識した教育効果の向上。	学校教育課 指導班		
	①福祉・ボランティア教育	②自然体験	③社会体験活動																													
R3実績	44校	39校	39校																													
R4実績	43校	43校	43校																													
R5実績	35校	35校	35校																													
R6実績	35校	35校	35校																													
R7実績	35校	35校	35校																													
1-2-1-2	幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進事業	・市内教育機関の長による課題解決のための協議、研修、講演会等の実施	上段：第1回 授業提供校 下段：第2回 「教育講演会」講師等 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>川崎市民センター 「夢をつかめ！自分の夢を実現しよう！」 ミキハウス株式会社社長室部長 坂本 達</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>萩荘中学校 「海外での経験」 絵本作家・デザイナー 駒形 克己</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>千厩高等学校 「キャリア教育で子供たちに育みたいもの」 有限会社福田パン代表取締役社長 福田 潔</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>赤荻小学校 「人が生きる場のづくり方」 北良株式会社代表取締役社長 笠井 健</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>磐井中学校 「」 岩泉ホールディングス株式会社代表取締役社長 山下 欽也</td> </tr> </tbody> </table>	R3	川崎市民センター 「夢をつかめ！自分の夢を実現しよう！」 ミキハウス株式会社社長室部長 坂本 達	R4	萩荘中学校 「海外での経験」 絵本作家・デザイナー 駒形 克己	R5	千厩高等学校 「キャリア教育で子供たちに育みたいもの」 有限会社福田パン代表取締役社長 福田 潔	R6	赤荻小学校 「人が生きる場のづくり方」 北良株式会社代表取締役社長 笠井 健	R7	磐井中学校 「」 岩泉ホールディングス株式会社代表取締役社長 山下 欽也	・第1回学校運営推進協議会において、共通テーマ「キャリア教育」に関する各校種での発達段階に合わせた取組について情報共有がなされた。 ・第2回学校運営推進協議会で実施した教育講演会は、各校の学校運営等に示唆を与える有益な内容であった。	・協議会における共通テーマの検討。 ・時代のニーズに即した講師の選定。	学校教育課 指導班																
R3	川崎市民センター 「夢をつかめ！自分の夢を実現しよう！」 ミキハウス株式会社社長室部長 坂本 達																															
R4	萩荘中学校 「海外での経験」 絵本作家・デザイナー 駒形 克己																															
R5	千厩高等学校 「キャリア教育で子供たちに育みたいもの」 有限会社福田パン代表取締役社長 福田 潔																															
R6	赤荻小学校 「人が生きる場のづくり方」 北良株式会社代表取締役社長 笠井 健																															
R7	磐井中学校 「」 岩泉ホールディングス株式会社代表取締役社長 山下 欽也																															
1-2-1-3	児童・生徒・学生顕彰事業	・体育、文化等の活動で優れた成績を収めた児童、生徒、学生の表彰	・主な実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>個人の部（人）</th> <th>団体の部（団体）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>96</td> <td>17</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>106</td> <td>27</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>115</td> <td>25</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>157</td> <td>26</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>120</td> <td>30</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>		個人の部（人）	団体の部（団体）	合計	令和3年度	96	17	113	令和4年度	106	27	133	令和5年度	115	25	140	令和6年度	157	26	183	令和7年度	120	30	150	・体育、文化活動において功績のあった児童生徒及び学生を表彰し、その栄誉をたたえることにより、児童生徒等の健全育成が図られた。	・児童生徒数の減少に対し、顕彰対象者が増加傾向にあるため、予算の増額が必要である。 ・活動の場の広がりによる、学校での大会結果等の情報把握の困難化。 ・全国的な児童生徒数の減少に伴う上位大会の規模見直しに対応した、顕彰基準の見直しの検討。	学校教育課 学校教育係	32	
	個人の部（人）	団体の部（団体）	合計																													
令和3年度	96	17	113																													
令和4年度	106	27	133																													
令和5年度	115	25	140																													
令和6年度	157	26	183																													
令和7年度	120	30	150																													

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																																												
1-2-2-1	福祉・ボランティア教育推進事業	・福祉施設の訪問や地域への奉仕活動などの福祉・ボランティア活動の実施	<p>・主な実績(福祉・ボランティア教育、自然体験、社会体験活動を取り入れた学校数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福祉・ボランティア教育</th> <th>自然体験</th> <th>社会体験活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 3実績</td> <td>44校</td> <td>39校</td> <td>39校</td> </tr> <tr> <td>R 4実績</td> <td>43校</td> <td>43校</td> <td>43校</td> </tr> <tr> <td>R 5実績</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> </tr> <tr> <td>R 6実績</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> </tr> <tr> <td>R 7実績</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> </tr> </tbody> </table>		福祉・ボランティア教育	自然体験	社会体験活動	R 3実績	44校	39校	39校	R 4実績	43校	43校	43校	R 5実績	35校	35校	35校	R 6実績	35校	35校	35校	R 7実績	35校	35校	35校	<p>・学校の年間教育計画に道徳教育、福祉・ボランティア教育、自然体験、社会体験活動を位置付け、ボランティア精神や他者を思いやる心を育んだ。</p>	<p>・引き続き、各校における取組を推進し、活動の充実を図ること。</p> <p>・キャリア教育との関連を踏まえ、地域から学ぶ貴重な機会として取り組めるよう推進すること。</p>	学校教育課 指導班		B																																				
	福祉・ボランティア教育	自然体験	社会体験活動																																																																	
R 3実績	44校	39校	39校																																																																	
R 4実績	43校	43校	43校																																																																	
R 5実績	35校	35校	35校																																																																	
R 6実績	35校	35校	35校																																																																	
R 7実績	35校	35校	35校																																																																	
1-2-2-2	環境教育推進事業	・豊かな自然環境を守るための実践力を育む環境教育の実施	<p>・主な実績(環境教育を実施している学習場面（学校数）)</p> <p><小学校></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教科</th> <th>道徳</th> <th>総合</th> <th>特活</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 3実績</td> <td>28校</td> <td>24校</td> <td>28校</td> <td>15校</td> </tr> <tr> <td>R 4実績</td> <td>27校</td> <td>23校</td> <td>27校</td> <td>14校</td> </tr> <tr> <td>R 5実績</td> <td>21校</td> <td>18校</td> <td>21校</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>R 6実績</td> <td>21校</td> <td>18校</td> <td>21校</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>R 7実績</td> <td>21校</td> <td>18校</td> <td>21校</td> <td>11校</td> </tr> </tbody> </table> <p><中学校></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教科</th> <th>道徳</th> <th>総合</th> <th>特活</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 3実績</td> <td>16校</td> <td>11校</td> <td>11校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>R 4実績</td> <td>16校</td> <td>12校</td> <td>9校</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>R 5実績</td> <td>14校</td> <td>11校</td> <td>10校</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>R 6実績</td> <td>14校</td> <td>12校</td> <td>10校</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>R 7実績</td> <td>14校</td> <td>12校</td> <td>10校</td> <td>7校</td> </tr> </tbody> </table>		教科	道徳	総合	特活	R 3実績	28校	24校	28校	15校	R 4実績	27校	23校	27校	14校	R 5実績	21校	18校	21校	10校	R 6実績	21校	18校	21校	10校	R 7実績	21校	18校	21校	11校		教科	道徳	総合	特活	R 3実績	16校	11校	11校	5校	R 4実績	16校	12校	9校	7校	R 5実績	14校	11校	10校	7校	R 6実績	14校	12校	10校	7校	R 7実績	14校	12校	10校	7校	<p>・環境教育を各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動に位置付け、身近な環境に目を向けさせることで、環境保全に関する知識や態度を育んだ。</p>	<p>・引き続き、各校における取組を推進し、活動の充実を図る必要がある。</p>	学校教育課 指導班		
	教科	道徳	総合	特活																																																																
R 3実績	28校	24校	28校	15校																																																																
R 4実績	27校	23校	27校	14校																																																																
R 5実績	21校	18校	21校	10校																																																																
R 6実績	21校	18校	21校	10校																																																																
R 7実績	21校	18校	21校	11校																																																																
	教科	道徳	総合	特活																																																																
R 3実績	16校	11校	11校	5校																																																																
R 4実績	16校	12校	9校	7校																																																																
R 5実績	14校	11校	10校	7校																																																																
R 6実績	14校	12校	10校	7校																																																																
R 7実績	14校	12校	10校	7校																																																																

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																																																					
1-3-1-1	児童生徒健診事業	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法による定期健康診断の実施 肥満や生活習慣病を予防するための生活習慣病予防健診の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各校園において、学校医・学校歯科医による内科・歯科・眼科・耳鼻科健診を実施した。 心臓検査、尿検査を実施した。 小学4年生と中学1年生の希望者を対象に貧血検査を含む生活習慣病予防健診を実施した。 受診者実績(人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年生</td> <td>747</td> <td>684</td> <td>653</td> <td>587</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>中学1年生</td> <td>791</td> <td>757</td> <td>739</td> <td>675</td> <td>737</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,538</td> <td>1,441</td> <td>1,392</td> <td>1,262</td> <td>1,487</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向児出現率(%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小6肥満傾向児出現率</td> <td>一関市</td> <td>17.32</td> <td>17.75</td> <td>10.17</td> <td>16.35</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>10.98</td> <td>12.25</td> <td>11.41</td> <td>11.55</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中3肥満傾向児出現率</td> <td>一関市</td> <td>13.21</td> <td>13.89</td> <td>12.12</td> <td>12.77</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>9.05</td> <td>9.55</td> <td>9.09</td> <td>9.07</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向児出現率が全国と比べて若干高い。 次年度就学予定者を対象に、内科・眼科・耳鼻科・歯科健診及び視力・聴力・知能・言語検査を実施した。 対象者数(人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>会場</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユートム他</td> <td>733</td> <td>642</td> <td>611</td> <td>575</td> <td>548</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R4	R5	R6	R7	小学4年生	747	684	653	587	750	中学1年生	791	757	739	675	737	合計	1,538	1,441	1,392	1,262	1,487			R3	R4	R5	R6	R7	小6肥満傾向児出現率	一関市	17.32	17.75	10.17	16.35	-	全国	10.98	12.25	11.41	11.55	-	中3肥満傾向児出現率	一関市	13.21	13.89	12.12	12.77	-	全国	9.05	9.55	9.09	9.07	-	会場	R3	R4	R5	R6	R7	ユートム他	733	642	611	575	548	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の結果に基づき、健康状態等に応じた適切な保健指導を行うことで、児童生徒等の健康管理、健康増進に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> 肥満傾向児出現率が全国比で高い状況にある。 児童生徒等の更なる健康増進を図るため、継続的な取組の推進。 家庭と連携し、県教育委員会が提唱する「60プロジェクト」を推進し、肥満対策に取り組むこと。 	学校教育課 保健係		B
	R3	R4	R5	R6	R7																																																																								
小学4年生	747	684	653	587	750																																																																								
中学1年生	791	757	739	675	737																																																																								
合計	1,538	1,441	1,392	1,262	1,487																																																																								
		R3	R4	R5	R6	R7																																																																							
小6肥満傾向児出現率	一関市	17.32	17.75	10.17	16.35	-																																																																							
	全国	10.98	12.25	11.41	11.55	-																																																																							
中3肥満傾向児出現率	一関市	13.21	13.89	12.12	12.77	-																																																																							
	全国	9.05	9.55	9.09	9.07	-																																																																							
会場	R3	R4	R5	R6	R7																																																																								
ユートム他	733	642	611	575	548																																																																								
1-3-1-2	健康教室開催事業	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における危険薬物を知る薬物乱用防止教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 主な実績（薬物乱用防止教室の実施校数） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校実施</th> <th>小学校未実施</th> <th>中学校実施</th> <th>中学校未実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>27校</td> <td>1校</td> <td>16校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>26校</td> <td>1校</td> <td>15校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>21校</td> <td>0校</td> <td>16校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>20校</td> <td>1校</td> <td>16校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>21校</td> <td>0校</td> <td>16校</td> <td>0校</td> </tr> </tbody> </table>		小学校実施	小学校未実施	中学校実施	中学校未実施	R3実績	27校	1校	16校	0校	R4実績	26校	1校	15校	1校	R5実績	21校	0校	16校	0校	R6実績	20校	1校	16校	0校	R7実績	21校	0校	16校	0校	<ul style="list-style-type: none"> 多くの小・中学校が薬物乱用防止教室を学校保健計画に位置付け、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校では実施が義務付けられているが、小学校においても薬物乱用防止教室実施の重要性を周知する必要がある。 	学校教育課 指導班																																									
	小学校実施	小学校未実施	中学校実施	中学校未実施																																																																									
R3実績	27校	1校	16校	0校																																																																									
R4実績	26校	1校	15校	1校																																																																									
R5実績	21校	0校	16校	0校																																																																									
R6実績	20校	1校	16校	0校																																																																									
R7実績	21校	0校	16校	0校																																																																									
1-3-1-3	環境衛生検査事業	<ul style="list-style-type: none"> 学校における室内環境や水質などの環境衛生検査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ホルムアルデヒド測定キットおよびダニアレルゲン検査キットを各小中学校へ配布し、検査を実施した。 学校薬剤師等により、各校園で二酸化炭素・温度・照度検査などを実施した。 飲料水（水道水・井戸水）及びプール水の水質検査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種環境衛生検査の実施により、適切な環境の維持に努め、児童生徒及び職員の健康を保護することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の良好な環境を保持するため、継続して取組を推進していく。 	学校教育課 保健係																																																																							

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																																															
1-3-2-1	食育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに望ましい食習慣を定着させ、郷土食や地場産品を提供し、食文化の理解と健康な体作りを推進する。 各学校の食育全体計画、年間計画に基づき、栄養教諭等と連携した食に関する指導の実施。 地元食材を使用した給食の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識を持つ栄養教諭等が学校と連携して行った食に関する指導回数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>539回</td> <td>491回</td> <td>498回</td> <td>421回</td> <td>425回</td> </tr> <tr> <td>保護者等</td> <td>5回</td> <td>14回</td> <td>13回</td> <td>23回</td> <td>25回</td> </tr> </table> 朝食を毎日食べる児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査より） <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小6</td> <td>市</td> <td>97.8%</td> <td>96.4%</td> <td>95.0%</td> <td>94.0%</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>94.9%</td> <td>94.4%</td> <td>93.9%</td> <td>93.7%</td> <td>94.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中3</td> <td>市</td> <td>94.8%</td> <td>94.4%</td> <td>92.4%</td> <td>92.6%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>92.8%</td> <td>91.9%</td> <td>91.2%</td> <td>91.2%</td> <td>92.0%</td> </tr> </table> 学校給食における一関市産食材の使用割合 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>使用割合</td> <td>63.8%</td> <td>61.4%</td> <td>62.6%</td> <td>62.5%</td> <td>62.5%</td> </tr> </table> 		R3	R4	R5	R6	R7	児童生徒	539回	491回	498回	421回	425回	保護者等	5回	14回	13回	23回	25回			R3	R4	R5	R6	R7	小6	市	97.8%	96.4%	95.0%	94.0%	95.0%	全国	94.9%	94.4%	93.9%	93.7%	94.0%	中3	市	94.8%	94.4%	92.4%	92.6%	93.0%	全国	92.8%	91.9%	91.2%	91.2%	92.0%		R3	R4	R5	R6	R7	使用割合	63.8%	61.4%	62.6%	62.5%	62.5%	<ul style="list-style-type: none"> 給食指導や食に関する指導の実施状況調査により、学校と栄養教諭等の連携した取組について情報共有が図られた。 郷土料理や地場産品を使用した給食の提供、生産者との交流事業を通じ、児童生徒の郷土への理解と愛着が育まれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国平均よりも高いものの、朝食を毎日食べる児童生徒の割合が低下しており、小学校で20人に一人、中学校で14人に一人の状況になっている。家庭・学校・地域が連携し、食育を推進する必要がある。 	学校教育課 保健係		B
	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
児童生徒	539回	491回	498回	421回	425回																																																																		
保護者等	5回	14回	13回	23回	25回																																																																		
		R3	R4	R5	R6	R7																																																																	
小6	市	97.8%	96.4%	95.0%	94.0%	95.0%																																																																	
	全国	94.9%	94.4%	93.9%	93.7%	94.0%																																																																	
中3	市	94.8%	94.4%	92.4%	92.6%	93.0%																																																																	
	全国	92.8%	91.9%	91.2%	91.2%	92.0%																																																																	
	R3	R4	R5	R6	R7																																																																		
使用割合	63.8%	61.4%	62.6%	62.5%	62.5%																																																																		
1-3-3-1	体育実技講習会派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> 体育実技講習会への教員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 主な実績（体育実技講習会へ参加した教員数） <table border="1"> <tr> <td></td> <td>小学校</td> <td>中学校</td> </tr> <tr> <td>R3実績</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>4名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> </table> 		小学校	中学校	R3実績	0名	0名	R4実績	4名	1名	R5実績	0名	1名	R6実績	2名	0名	R7実績	2名	2名	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育課程に位置づく武道で、指導経験がない教員に対する研修であり、指導技術と安全に係る配慮を専門家から学ぶ機会になる。 参加者は、自身の体育授業における課題解決に向け、主体的に研修に臨んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 受講経験のある保健体育科教員を希望制に変更後、参加者数が減少しており、本講習会の意義の再認識と参加意欲の向上を図る必要がある。 	学校教育課 指導班																																															
	小学校	中学校																																																																					
R3実績	0名	0名																																																																					
R4実績	4名	1名																																																																					
R5実績	0名	1名																																																																					
R6実績	2名	0名																																																																					
R7実績	2名	2名																																																																					
1-4-1-1	キャリア教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 中学生による原則5日間の社会体験学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 主な実績（中学校の社会体験学習の実施校数） <table border="1"> <tr> <td>R3実績</td> <td>新型コロナのため中止</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>5日間実施12校、3日間実施2校、2日間実施2校</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>5日間実施14校（全中学校）</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>5日間実施14校（全中学校）</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>5日間実施14校（全中学校）</td> </tr> </table> 	R3実績	新型コロナのため中止	R4実績	5日間実施12校、3日間実施2校、2日間実施2校	R5実績	5日間実施14校（全中学校）	R6実績	5日間実施14校（全中学校）	R7実績	5日間実施14校（全中学校）	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の事前・事後アンケート結果から、「働く意義」等の項目で肯定的な回答が大きく伸び、事業の教育的効果が確認された。 事業所アンケートから、社会体験学習が生徒の成長に繋がり、有意義であるとの評価を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が事業を実施しやすくなるよう、実施時期の柔軟な対応やアンケート方法の簡素化を図ること。 5日間実施のための受入事業所の確保。 	学校教育課 指導班	33	A																																																					
R3実績	新型コロナのため中止																																																																						
R4実績	5日間実施12校、3日間実施2校、2日間実施2校																																																																						
R5実績	5日間実施14校（全中学校）																																																																						
R6実績	5日間実施14校（全中学校）																																																																						
R7実績	5日間実施14校（全中学校）																																																																						
1-4-2-1	国際理解教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 外国語指導助手の小中学校への配置 	<ul style="list-style-type: none"> 主な実績（学校派遣回数） <table border="1"> <tr> <td>R3実績</td> <td>ALT11人(平均200回/1人)</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>ALT11人(平均200回/1人)</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>ALT10人(平均200回/1人)</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>ALT10人(平均200回/1人)</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>ALT10人(平均200回/1人)</td> </tr> </table> 【R6年度実績内容】 ALT(外国語指導助手)(10人)を各小中学校、幼稚園等に派遣 ALT研修会の実施(1回) 	R3実績	ALT11人(平均200回/1人)	R4実績	ALT11人(平均200回/1人)	R5実績	ALT10人(平均200回/1人)	R6実績	ALT10人(平均200回/1人)	R7実績	ALT10人(平均200回/1人)	<ul style="list-style-type: none"> ALTとのチーム・ティーチングにより、児童生徒が生きた英語に触れる機会を確保し、英語学習への意欲を高めた。 幼稚園・こども園へのALT派遣により、幼児期から英語活動を体験し、異文化理解の素地を育んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ALT研修会を継続実施し、ALTの指導力を高めること。 県事業も活用し、小・中学校教員とALTとのチーム・ティーチングの質を向上させ、授業力向上を図ること。 タブレット端末やデジタル教科書の有効活用。 	学校教育課 指導班		B																																																					
R3実績	ALT11人(平均200回/1人)																																																																						
R4実績	ALT11人(平均200回/1人)																																																																						
R5実績	ALT10人(平均200回/1人)																																																																						
R6実績	ALT10人(平均200回/1人)																																																																						
R7実績	ALT10人(平均200回/1人)																																																																						

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																		
1-4-2-2	英語検定料助成事業	・英語検定を受験する生徒への検定料の助成	補助対象者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>934人</td> <td>953人</td> <td>840人</td> <td>1,065人</td> <td>1,100人</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R4	R5	R6	R7		934人	953人	840人	1,065人	1,100人	・検定料助成により、目標を持って意欲的に英語学習に取り組む生徒が増加し、上位級への挑戦者の割合が安定している。	・学校間で受験率に差異が見られるため、受験率が高い学校の取組を共有し、受験機会の拡大を図る。	学校教育課 学校教育係		B						
	R3	R4	R5	R6	R7																					
	934人	953人	840人	1,065人	1,100人																					
1-4-2-3	中学生最先端科学体験研修事業	・中学生を最先端科学施設等へ派遣しての研修の実施	・主な実績（派遣した生徒数） <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>中学校3年生 34人</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>中学校3年生 40人</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>中学校3年生 60人</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>中学校3年生 50人</td> </tr> </tbody> </table>	R3実績	中止	R4実績	中学校3年生 34人	R5実績	中学校3年生 40人	R6実績	中学校3年生 60人	R7実績	中学校3年生 50人	・研究者との交流等、生徒が主体的に参加できる研修を通じ、最先端科学技術への理解を深めた。 ・ILC 実現への興味関心を高めることに繋がった。	・引き続き研究者との交流の場を設定し、科学への興味関心を高めるとともに、キャリア教育の視点での研修の工夫。 ・つくば市内における新たな研修先の開拓(JAXA は申請が困難な場合があるため)。	学校教育課 指導班		A								
R3実績	中止																									
R4実績	中学校3年生 34人																									
R5実績	中学校3年生 40人																									
R6実績	中学校3年生 60人																									
R7実績	中学校3年生 50人																									
1-4-3-1	学校 ICT 活用事業	・ICTやデジタル教材の活用による教育の質の向上	・主な実績（学校における教育の情報化の実態等に関する調査『授業に ICT を活用して指導する力』） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>78.6%</td> <td>68.2%</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>86.3%</td> <td>73.1%</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>85.3%</td> <td>78.2%</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>83.7%</td> <td>82.5%</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>86.0%</td> <td>85.0%</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	中学校	R3実績	78.6%	68.2%	R4実績	86.3%	73.1%	R5実績	85.3%	78.2%	R6実績	83.7%	82.5%	R7実績	86.0%	85.0%	・ICT 活用が「資質・能力の育成」段階へ進捗した。 ・全県統一の校務支援システム導入に伴い、校務DXが進んでいる。	・令和8年度から整備予定の一人一台タブレットのスペック（基本性能）の検討。 ・一人一台タブレット及び既存アプリケーションの効果的な活用方法の周知。	学校教育課 指導班		A
	小学校	中学校																								
R3実績	78.6%	68.2%																								
R4実績	86.3%	73.1%																								
R5実績	85.3%	78.2%																								
R6実績	83.7%	82.5%																								
R7実績	86.0%	85.0%																								
1-4-3-2	情報モラル教育推進事業	・情報化社会におけるルールとマナーを教える情報モラル教育の推進	・主な実績（学校における教育の情報化の実態等に関する調査より） 質問項目「児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重してルールやマナーを守って情報を集めたり発見したりできるように指導できる。」の回答割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>85.4%</td> <td>78.3%</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>86.6%</td> <td>77.8%</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>88.1%</td> <td>84.3%</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>88.8%</td> <td>82.9%</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>90.0%</td> <td>85.0%</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	中学校	R3実績	85.4%	78.3%	R4実績	86.6%	77.8%	R5実績	88.1%	84.3%	R6実績	88.8%	82.9%	R7実績	90.0%	85.0%	・ICT 専門員等による情報モラル研修会の成果により、「情報モラル指導ができる」と回答した教員の割合が増加傾向にある。 ・情報モラルに係る問題発生時、多くの教員が適切に対応している。 ・指導機会を中学校の入学説明会に位置付けるなど効果的な学びになるための工夫をしている。	・インターネットや SNS の普及に伴う様々なトラブルを想定し、各校で情報モラル研修会を継続して位置付ける必要がある。 ・研修会の対象を児童生徒だけでなく、保護者にも拡大し実施する機会の設定。	学校教育課 指導班		
	小学校	中学校																								
R3実績	85.4%	78.3%																								
R4実績	86.6%	77.8%																								
R5実績	88.1%	84.3%																								
R6実績	88.8%	82.9%																								
R7実績	90.0%	85.0%																								
1-4-4-1	復興教育推進事業	・東日本大震災の教訓を生かした復興教育の実施	・主な実績(復興教育を学校の指導の重点に位置付けている学校(学校数)) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>28校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>27校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>21校</td> <td>14校</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>21校</td> <td>14校</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>21校</td> <td>14校</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	中学校	R3実績	28校	16校	R4実績	27校	16校	R5実績	21校	14校	R6実績	21校	14校	R7実績	21校	14校	・各校が地域の特色を生かし、震災学習や防災訓練を実施することで、児童生徒の防災意識を高めた。	・各校の特色ある取組を推進するとともに、「いわての復興教育」が示す3つの教育的価値（いきる・かかわる・そなえる）と学校の教育活動との結び付きを強化する必要がある。 ・防災教育に加え、「いきる・かかわる」の視点に立った特色ある取組の推進。	学校教育課 指導班		
	小学校	中学校																								
R3実績	28校	16校																								
R4実績	27校	16校																								
R5実績	21校	14校																								
R6実績	21校	14校																								
R7実績	21校	14校																								

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																								
1-4-5-1	学校規模適正化推進事業	・適正規模の教育環境の整備	<p>・学校通学区調整審議会による「学校規模の適正化の基本的な考え方について（H19.11）」の答申を基に子どもたちにとって、良好な教育環境を将来にわたって確保するため、保護者、地域住民との懇談を重ね、学校規模の適正化を進めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>学校名</th> <th>統合校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和4年度</td> <td>室根小学校（新設統合）</td> <td>室根東小、室根西小</td> </tr> <tr> <td>花泉小学校（新設統合）</td> <td>永井小、浦津小、油島小、老松小、金沢小</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">令和5年度</td> <td>大東中学校（新設統合）</td> <td>大原中、大東中、興田中</td> </tr> <tr> <td>藤沢小学校（編入統合）</td> <td>新沼小</td> </tr> </tbody> </table>	年度	学校名	統合校	令和4年度	室根小学校（新設統合）	室根東小、室根西小	花泉小学校（新設統合）	永井小、浦津小、油島小、老松小、金沢小	令和5年度	大東中学校（新設統合）	大原中、大東中、興田中	藤沢小学校（編入統合）	新沼小	・保護者や地域住民との共通理解を図りながら学校規模の適正化を進め、教育環境の充実に寄与した。	・学校は地域コミュニティの核であることから、統廃合に際しては、PTA や地元住民と懇談を重ね、共通理解を得ることが必要である。	教育総務課 教育企画係		B											
年度	学校名	統合校																														
令和4年度	室根小学校（新設統合）	室根東小、室根西小																														
	花泉小学校（新設統合）	永井小、浦津小、油島小、老松小、金沢小																														
令和5年度	大東中学校（新設統合）	大原中、大東中、興田中																														
	藤沢小学校（編入統合）	新沼小																														
1-5-1-1	魅力ある学校推進事業	<p>・ゲストティーチャーなど地域人材を活用した教育活動の実施</p> <p>・学校評議員の設置による外部評価の充実と学校経営への反映</p> <p>・ホームページ等を活用した学校からの情報発信</p>	<p>・主な実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>地域人材の活用</th> <th>学校運営支援協議会の設置</th> <th>ホームページ開設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>小28校、中16校</td> <td>小3校、中2校</td> <td>小28校、中16校</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>小27校、中16校</td> <td>小6校、中3校</td> <td>小27校、中16校</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>小21校、中14校</td> <td>小6校、中3校</td> <td>小21校、中14校</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>小21校、中14校</td> <td>小21校、中14校</td> <td>小21校、中14校</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>小21校、中14校</td> <td>小21校、中14校</td> <td>小21校、中14校</td> </tr> </tbody> </table> <p>※学校評議員については、全小・中学校でR3～R5も継続設置である。</p>		地域人材の活用	学校運営支援協議会の設置	ホームページ開設	R3実績	小28校、中16校	小3校、中2校	小28校、中16校	R4実績	小27校、中16校	小6校、中3校	小27校、中16校	R5実績	小21校、中14校	小6校、中3校	小21校、中14校	R6実績	小21校、中14校	小21校、中14校	小21校、中14校	R7実績	小21校、中14校	小21校、中14校	小21校、中14校	<p>・地域人材の活用により、各校で特色ある教育活動を実施できた。</p> <p>・学校運営支援協議会への移行を進め、地域の特色を学校運営に生かす体制を整備した。</p> <p>・各校ホームページ等による情報発信を通じ、地域に開かれた学校づくりを推進している。</p>	<p>・特色ある教育活動を更に充実させるための新たな人材の確保と、行事内容の精査。</p> <p>・学校運営支援協議会における熟議の在り方や内容に関する研究。</p> <p>・各校ホームページの定期的な更新と内容の精査。</p>	学校教育課 指導班	34	
	地域人材の活用	学校運営支援協議会の設置	ホームページ開設																													
R3実績	小28校、中16校	小3校、中2校	小28校、中16校																													
R4実績	小27校、中16校	小6校、中3校	小27校、中16校																													
R5実績	小21校、中14校	小6校、中3校	小21校、中14校																													
R6実績	小21校、中14校	小21校、中14校	小21校、中14校																													
R7実績	小21校、中14校	小21校、中14校	小21校、中14校																													
1-5-2-1	地域学習推進事業	・学芸員を活用した一関市の先人を学ぶ学習の実施	<p>・主な実績</p> <p>(1)「ことばのテキスト」による先人学習 R3～7実績：小学校 100% ※H30「ことばのテキスト『言海』」使用開始</p> <p>(2)「ことばの先人出前授業」の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>受講児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>2校</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>3校</td> <td>143人</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>5校</td> <td>199人</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>2校</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	受講児童数	R3実績	2校	122人	R4実績	3校	143人	R5実績	5校	199人	R6実績	2校	166人	R7実績	未実施	未実施	<p>・「ことばのテキスト」及び「ことばの先人出前授業」を通じ、郷土の先人への理解を深め、郷土への誇りを育んだ。</p> <p>・「ことばの先人出前授業」を計画的に実施するため、博物館との連携を図った。</p>	<p>・小学校社会科の学習内容と関連付け、出前授業の実施時期を計画すること。</p> <p>・小学校での実施履歴を踏まえ、中学校での「ことばの先人出前授業」の内容を検討し、計画すること。</p>	学校教育課 指導班		A						
	小学校	受講児童数																														
R3実績	2校	122人																														
R4実績	3校	143人																														
R5実績	5校	199人																														
R6実績	2校	166人																														
R7実績	未実施	未実施																														

事業評価シート一覧（学校教育・2班）

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																								
1-6-1-1	特別支援教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の安全確保と発達支援を行うきめ細かな指導支援員の配置 ・ 特別な支援を要する子どもたちを支援する学校サポーターの配置 ・ 市特別支援コーディネーターによる各園、各校への巡回相談の実施 ・ 発音、話し方等の障がいを持つ就学前の幼児に対する相談や指導を行う幼児ことばの教室の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>特別支援コーディネーター配置人数</th> <th>学校サポーター配置人数</th> <th>幼稚園のきめ細かな指導支援員配置人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>3人</td> <td>29校に45人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>3人</td> <td>27校に40人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>3人</td> <td>24校に43人</td> <td>なし※児童保育課へ移管</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>3人</td> <td>24校に43人</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>3人</td> <td>24校に38人</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> 		特別支援コーディネーター配置人数	学校サポーター配置人数	幼稚園のきめ細かな指導支援員配置人数	R3実績	3人	29校に45人	4人	R4実績	3人	27校に40人	4人	R5実績	3人	24校に43人	なし※児童保育課へ移管	R6実績	3人	24校に43人	なし	R7実績	3人	24校に38人	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援コーディネーター等による組織的な取組により、就学前の子どもの状況を細やかに把握した。 ・ 学校サポーターの配置により、支援を必要とする子どもへのきめ細かな支援を実施した。 ・ 専門家チームによる教育相談を通じ、各校の教育支援方針に関する助言を行った。 ・ 幼児ことばの教室の設置により、就学前の幼児への相談・指導を行い、円滑な小学校就学に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学前から小学校への継続的な支援体制を構築するため、コーディネーターによる全園巡回を継続する必要がある。 ・ 特別支援教育相談会を定期的に行い、早期からの就学相談ができるよう学校・保護者を支援すること。 ・ 学校サポーターによる、一人ひとりの状況に応じた支援の継続。 	学校教育課 指導班		A
	特別支援コーディネーター配置人数	学校サポーター配置人数	幼稚園のきめ細かな指導支援員配置人数																													
R3実績	3人	29校に45人	4人																													
R4実績	3人	27校に40人	4人																													
R5実績	3人	24校に43人	なし※児童保育課へ移管																													
R6実績	3人	24校に43人	なし																													
R7実績	3人	24校に38人	なし																													
1-6-2-1	不登校対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校等の悩み相談を行う教育相談員、適応支援相談員の配置 ・ 学校への復帰を支援する適応支援教室「たんぼぼ広場」の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な実績（不登校児童生徒の出現率） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>0.74%（全国 1.00%）</td> <td>3.53%（全国 4.09%）</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>0.98%（全国 1.30%）</td> <td>4.78%（全国 5.00%）</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>1.18%（全国 1.70%）</td> <td>5.15%（全国 5.98%）</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>1.54%（全国 2.14%）</td> <td>5.95%（全国 6.71%）</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>1.94%（全国 データ未）</td> <td>6.66%（全国 データ未）</td> </tr> </tbody> </table> 【R6 年度実績】 ・ 教育相談員(3人)による校長等との相談活動(延べ747回) ・ 適応支援相談員(7人)による支援活動 ・ 教育支援センター(たんぼぼ広場)の開設(山目市民センター、市役所千厩支所 年間62日間 計124回) 		小学校	中学校	R3実績	0.74%（全国 1.00%）	3.53%（全国 4.09%）	R4実績	0.98%（全国 1.30%）	4.78%（全国 5.00%）	R5実績	1.18%（全国 1.70%）	5.15%（全国 5.98%）	R6実績	1.54%（全国 2.14%）	5.95%（全国 6.71%）	R7実績	1.94%（全国 データ未）	6.66%（全国 データ未）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談員等の活動により、支援の方向性や具体的な手立てが明確になり、組織的な対応に繋がっている。 ・ 不登校傾向の児童生徒に対する別室での学習や対応は、その子に応じた学びの保障となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校児童生徒が増加傾向にあり、一人ひとりへのきめ細かな対応を継続する必要がある。 ・ 不登校の未然防止に向け、魅力ある学校・授業づくりを推進すること。 ・ 新規の不登校児童生徒を生まないための居場所づくりや絆づくりの取組支援。 ・ 学校での情報モラル教育の推進と、家庭でのスマートフォン等使用に関するルールづくりの啓発。 ・ フリースクール「虹の学園」との情報交換を中心とした連携強化。 	学校教育課 指導班		B						
	小学校	中学校																														
R3実績	0.74%（全国 1.00%）	3.53%（全国 4.09%）																														
R4実績	0.98%（全国 1.30%）	4.78%（全国 5.00%）																														
R5実績	1.18%（全国 1.70%）	5.15%（全国 5.98%）																														
R6実績	1.54%（全国 2.14%）	5.95%（全国 6.71%）																														
R7実績	1.94%（全国 データ未）	6.66%（全国 データ未）																														

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																			
1-6-3-1	いじめ防止対策事業	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題について関係機関と連携を図る「いじめ問題対策連絡協議会」の開催等 子どもの悩み事相談電話、相談窓口の開設 	<ul style="list-style-type: none"> 主な実績(1,000人あたりのいじめ認知件数) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>11.6件(全国66.5件)</td> <td>23.9件(全国24.9件)</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>11.8件(全国79.9件)</td> <td>16.8件(全国30.0件)</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>23.9件(全国89.1件)</td> <td>27.6件(全国34.3件)</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>37.5件(全国96.5件)</td> <td>26.7件(全国38.1件)</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>32.1件(全国データ未)</td> <td>25.5件(全国データ未)</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	中学校	R3実績	11.6件(全国66.5件)	23.9件(全国24.9件)	R4実績	11.8件(全国79.9件)	16.8件(全国30.0件)	R5実績	23.9件(全国89.1件)	27.6件(全国34.3件)	R6実績	37.5件(全国96.5件)	26.7件(全国38.1件)	R7実績	32.1件(全国データ未)	25.5件(全国データ未)	<ul style="list-style-type: none"> 各学校が「いじめ防止基本方針」をホームページで公表し、情報共有を図った。 アンケートの内容や回数を工夫し、いじめの早期発見・早期対応に向けた組織的な体制が整備され、きめ細かな対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの見逃しを 방지、積極的な認知を進めるため、学校組織による早期発見・早期対応、未然防止の取組を一層推進すること。 学校の組織的対応を支援するため、学校や関係機関との連携を強化し、情報共有を進めること。 	学校教育課 指導班		B	
	小学校	中学校																									
R3実績	11.6件(全国66.5件)	23.9件(全国24.9件)																									
R4実績	11.8件(全国79.9件)	16.8件(全国30.0件)																									
R5実績	23.9件(全国89.1件)	27.6件(全国34.3件)																									
R6実績	37.5件(全国96.5件)	26.7件(全国38.1件)																									
R7実績	32.1件(全国データ未)	25.5件(全国データ未)																									
1-7-1-1	幼児教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ことばの響きやリズムを楽しむ「ことばの時間」を取り入れた特色ある活動の展開 架け橋期のカリキュラム作成にかかる幼保小の連携 	<ul style="list-style-type: none"> 主な実績(『ことばの時間』を取り入れた指導主事等を招聘する園内研の実施) <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>9回</td> </tr> </tbody> </table>	R3実績	6回	R4実績	18回	R5実績	11回	R6実績	9回	R7実績	9回	<ul style="list-style-type: none"> 各園で創意工夫を凝らした「ことばの時間」を実践し、幼児の語彙の広がりにつながる成果が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校区を基盤とした幼保小連携による「架け橋期」のカリキュラム作成 実践に向けた取組の充実が必要である。 	学校教育課 指導班	35										
R3実績	6回																										
R4実績	18回																										
R5実績	11回																										
R6実績	9回																										
R7実績	9回																										
1-7-1-2	子ども子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 私立幼稚園における預かり保育の実施 地域の実情を踏まえた認定こども園等への移行 	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園における一時預かり事業の実績 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>延べ 840人</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>延べ 648人</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>延べ 448人</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>延べ 387人</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>延べ 448人(見込み)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園化に向けた検討 令和6年度に摺沢幼稚園を認定こども園に移行 	R3実績	延べ 840人	R4実績	延べ 648人	R5実績	延べ 448人	R6実績	延べ 387人	R7実績	延べ 448人(見込み)	<ul style="list-style-type: none"> 一時預かり事業の実施により、保護者のニーズに応じた保育を提供した。 公立幼稚園等の認定こども園化により、幼児期の教育・保育の一体的な提供を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の就労要件を問わず、多様な教育・保育ニーズに対応するための提供体制を確保する必要がある。 	教育総務課		A									
R3実績	延べ 840人																										
R4実績	延べ 648人																										
R5実績	延べ 448人																										
R6実績	延べ 387人																										
R7実績	延べ 448人(見込み)																										
1-8-1-1	学校図書館ネットワーク事業	<ul style="list-style-type: none"> 図書の流通、ネットワークシステムの維持管理、データベース化支援、図書館システムの整備 	<ul style="list-style-type: none"> バーコードによる図書の貸し出し及び返却 電算化による図書台帳管理 市立図書館、他校の図書検索予約システムの利用 システム流通量 ※各年度の4月1日現在 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データベース化(冊)</td> <td>240,423</td> <td>251,740</td> <td>263,023</td> <td>273,201</td> <td>282,902</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ※R3に東西で図書館システムを統一 <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>データベース化(冊)</td> <td>177,615</td> </tr> <tr> <td>物流貸出(冊)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>物流借受(冊)</td> <td>22,513</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典：学校図書館支援センターだより)</p>	項目	R3	R4	R5	R6	R7	データベース化(冊)	240,423	251,740	263,023	273,201	282,902	R2	データベース化(冊)	177,615	物流貸出(冊)	0	物流借受(冊)	22,513	<ul style="list-style-type: none"> 東西の図書館システム統一により、学校図書館間及び市立図書館との連携が図られ、児童生徒の読書環境が充実した。 市立図書館の蔵書利用が可能となり、児童生徒の読書活動の推進に繋がった。 各校での貸出冊数が増加し、児童生徒がより本に親しむ機会が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の貸出、受入、廃棄等を円滑に行うため、更なるデータの電算化が求められる。 	学校教育課 指導班		
項目	R3	R4	R5	R6	R7																						
データベース化(冊)	240,423	251,740	263,023	273,201	282,902																						
R2	データベース化(冊)	177,615																									
	物流貸出(冊)	0																									
	物流借受(冊)	22,513																									

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																		
1-8-1-2	ことばの力を育てる教育推進事業（読書普及員の配置）	・読み聞かせや図書の紹介、読書環境の整備等を行う読書普及員の配置	<p>・主な実績（読書普及員・配置校数の経年経過）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読書普及員（人）</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>配置校（校）</td> <td>全校</td> <td>全校</td> <td>全校</td> <td>全校</td> <td>全校</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R3	R4	R5	R6	R7	読書普及員（人）	24	21	21	21	21	配置校（校）	全校	全校	全校	全校	全校	<p>・読書普及員、学校図書館担当者、市立図書館の連携により、市内全域で学校図書館システムの運用</p> <p>・活用が進み、読書環境の整備及び読書活動の推進に繋がった。</p> <p>・合同研修会等において、業務確認や実践紹介を行った。</p> <p>・読書普及員の市立図書館勤務により、学校図書館との連携が強化された。</p>	<p>・公立図書館との連携をさらに図り、児童生徒が本を手に取りたくなる環境整備に努める必要がある。</p> <p>・読書普及員の勤務時間と各校の実態を踏まえた業務の見直し。</p>	学校教育課 指導班		B
年度	R3	R4	R5	R6	R7																					
読書普及員（人）	24	21	21	21	21																					
配置校（校）	全校	全校	全校	全校	全校																					
1-8-2-1	ことばの力を育てる教育推進事業（幼児期ことばの時間）	・幼稚園等における「言葉の時間」の設定	<p>・主な実績（「ことばの時間」実施）</p> <p>R3～R4実績：市立幼稚園全8園 市立保育園全15園 市立こども園4園 ことば部会 幼・小交流公開研修会3園</p> <p>R5～R7実績：市立幼稚園全3園 市立保育園全11園 市立こども園6園 ことば部会 幼・小交流公開研修会3園</p>	<p>・市立就学前施設において10分間の「ことばの時間」を継続的に実施した。</p> <p>・園内研究の一環として公開研修会を実施し、指導主事による助言を行った。</p> <p>・市教育研究所に「ことば幼児部会」を設置し、各園へ絵本を配布した。</p>	<p>・園の教育課程の中で年間を通じた継続的な取組とすること。</p> <p>・廃園・統合に伴う、「ことばの時間」関連資料の回収。</p> <p>・「ことば幼児部会」の活性化。</p>	学校教育課 指導班		B																		
1-8-2-2	ことばの力を育てる教育推進事業（小学校ことばの時間）	・小学校向けの「ことばのテキスト」の活用及び「ことばの時間」の設定	<p>・ことばのテキスト「言海」の作成</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>ことばのテキスト「言海」の一部改訂</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>ことばのテキスト「言海」の配付・使用</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>ことばのテキスト「言海」の配付・使用、改訂に向けたアンケート</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>ことばのテキスト「言海」改訂（言海編集部会の開催5回）</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>ことばのテキスト「言海」の配付・使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「ことばの時間」の設定及び取組 R3～R7実績：小学校 100%</p>	R3実績	ことばのテキスト「言海」の一部改訂	R4実績	ことばのテキスト「言海」の配付・使用	R5実績	ことばのテキスト「言海」の配付・使用、改訂に向けたアンケート	R6実績	ことばのテキスト「言海」改訂（言海編集部会の開催5回）	R7実績	ことばのテキスト「言海」の配付・使用	<p>・全小学校において10分間の「ことばの時間」を設定・実施した。</p> <p>・学校訪問指導により、実践状況を把握した。</p>	<p>・各小学校で実施されている「ことばの時間」の実践例の蓄積及び共有。</p> <p>・ことばのテキスト「言海」の内容の再検討。</p>	学校教育課 指導班		A								
R3実績	ことばのテキスト「言海」の一部改訂																									
R4実績	ことばのテキスト「言海」の配付・使用																									
R5実績	ことばのテキスト「言海」の配付・使用、改訂に向けたアンケート																									
R6実績	ことばのテキスト「言海」改訂（言海編集部会の開催5回）																									
R7実績	ことばのテキスト「言海」の配付・使用																									
1-8-3-1	ことばの力を育てる教育推進事業（ことばの先人）	<p>・小学校における「ことばのテキスト」による先人学習</p> <p>・博物館の学芸員等による「ことばの先人」に関する出前授業</p>	<p>・主な実績</p> <p>(1)「ことばのテキスト」による先人学習 R3～7実績：小学校 100% ※H30「ことばのテキスト『言海』」使用開始</p> <p>(2)「ことばの先人出前授業」の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>受講児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>2校</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>3校</td> <td>143人</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>5校</td> <td>199人</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>2校</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	受講児童数	R3実績	2校	122人	R4実績	3校	143人	R5実績	5校	199人	R6実績	2校	166人	R7実績	未実施	未実施	<p>・「ことばのテキスト」及び「ことばの先人出前授業」を通じ、郷土の先人への理解を深め、郷土への誇りを育んだ。</p> <p>・「ことばの先人出前授業」を計画的に実施するため、博物館との連携を図った。</p>	<p>・小学校社会科の学習内容と関連付け、出前授業の実施時期を計画すること。</p> <p>・小学校での実施履歴を踏まえ、中学校での「ことばの先人出前授業」の内容を検討し、計画すること。</p>	学校教育課 指導班		B
	小学校	受講児童数																								
R3実績	2校	122人																								
R4実績	3校	143人																								
R5実績	5校	199人																								
R6実績	2校	166人																								
R7実績	未実施	未実施																								

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																																																	
2-1-1-1	学校等施設整備事業	・学校施設の老朽化改修や学校統合等に対応した計画的な整備	<p>・老朽化や児童、生徒の状況に応じた施設整備等を行った。</p> <p>・施設等整備状況（主な改修分）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>学校名</th> <th>内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>室根小</td> <td>校舎建設工事</td> <td>統合（R4開校）</td> </tr> <tr> <td>巖美中</td> <td>校舎空調設備改修工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>花泉小</td> <td>校舎建設工事</td> <td>統合（R5開校）</td> </tr> <tr> <td>大東中</td> <td>校舎建設工事</td> <td>統合（R5開校）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R5</td> <td>興田小</td> <td>校舎教室天井改修工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一関東中</td> <td>プールサイド防水改修工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R6</td> <td>一関小</td> <td>プール設備更新工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一関中</td> <td>校舎屋上補強工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R7</td> <td>赤荻小</td> <td>校舎トイレ改修工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>萩荘中</td> <td>太陽光発電設備更新工事</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・学校建設費及び学校管理費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(千円)</td> <td>1,218,239</td> <td>3,872,638</td> <td>681,459</td> <td>145,966</td> <td>124,652</td> </tr> </tbody> </table>	年度	学校名	内容	備考	R3	室根小	校舎建設工事	統合（R4開校）	巖美中	校舎空調設備改修工事		R4	花泉小	校舎建設工事	統合（R5開校）	大東中	校舎建設工事	統合（R5開校）	R5	興田小	校舎教室天井改修工事		一関東中	プールサイド防水改修工事		R6	一関小	プール設備更新工事		一関中	校舎屋上補強工事		R7	赤荻小	校舎トイレ改修工事		萩荘中	太陽光発電設備更新工事		事業費	R3	R4	R5	R6	R7	(千円)	1,218,239	3,872,638	681,459	145,966	124,652	<p>・学校統合に伴う施設の新設及び老朽化に伴う施設整備や改修等により、安全で快適な教育環境が確保された。</p>	<p>・今後、校舎の老朽化状況、児童生徒数の推移及び学校規模適正化を勘案しながら、安全安心な学校施設の整備を図る必要がある。</p>	教育総務課 教育企画係	36															
年度	学校名	内容	備考																																																																						
R3	室根小	校舎建設工事	統合（R4開校）																																																																						
	巖美中	校舎空調設備改修工事																																																																							
R4	花泉小	校舎建設工事	統合（R5開校）																																																																						
	大東中	校舎建設工事	統合（R5開校）																																																																						
R5	興田小	校舎教室天井改修工事																																																																							
	一関東中	プールサイド防水改修工事																																																																							
R6	一関小	プール設備更新工事																																																																							
	一関中	校舎屋上補強工事																																																																							
R7	赤荻小	校舎トイレ改修工事																																																																							
	萩荘中	太陽光発電設備更新工事																																																																							
事業費	R3	R4	R5	R6	R7																																																																				
(千円)	1,218,239	3,872,638	681,459	145,966	124,652																																																																				
2-1-1-2	学校図書館整備事業	・学校図書館標準冊数の確保及び学校図書館の図書の整備	<p>・学校図書館の蔵書の充実を図った</p> <p>・主な実績（充足率）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>110.3</td> <td>93.7</td> <td>102.8</td> <td>103.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>113.9</td> <td>101.0</td> <td>105.6</td> <td>103.8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>111.8</td> <td>96.7</td> <td>104.0</td> <td>103.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和7年度分は省略（年度末冊数未確定のため）</p> <p>・備品整備実績（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>教材区分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>消耗品費</td> <td>9,899</td> <td>9,974</td> <td>8,142</td> <td>7,793</td> <td>7,603</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>942</td> <td>297</td> <td>609</td> <td>230</td> <td>490</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>10,841</td> <td>10,271</td> <td>8,751</td> <td>8,023</td> <td>8,093</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>消耗品費</td> <td>7,261</td> <td>7,291</td> <td>7,508</td> <td>7,796</td> <td>7,175</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>757</td> <td>332</td> <td>349</td> <td>279</td> <td>468</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>8,018</td> <td>7,623</td> <td>7,857</td> <td>8,075</td> <td>7,643</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R3	R4	R5	R6	小学校	110.3	93.7	102.8	103.0	中学校	113.9	101.0	105.6	103.8	合計	111.8	96.7	104.0	103.4	学校区分	教材区分	R3	R4	R5	R6	R7	小学校	消耗品費	9,899	9,974	8,142	7,793	7,603	備品購入費	942	297	609	230	490	小計	10,841	10,271	8,751	8,023	8,093	中学校	消耗品費	7,261	7,291	7,508	7,796	7,175	備品購入費	757	332	349	279	468	小計	8,018	7,623	7,857	8,075	7,643	<p>・学校図書館の蔵書の充実を図り、多くの学校で図書標準を達成した。</p>	<p>・蔵書の廃棄作業の継続。</p> <p>・蔵書の新規登録作業の効率化。</p>	教育総務課 庶務係		
項目	R3	R4	R5	R6																																																																					
小学校	110.3	93.7	102.8	103.0																																																																					
中学校	113.9	101.0	105.6	103.8																																																																					
合計	111.8	96.7	104.0	103.4																																																																					
学校区分	教材区分	R3	R4	R5	R6	R7																																																																			
小学校	消耗品費	9,899	9,974	8,142	7,793	7,603																																																																			
	備品購入費	942	297	609	230	490																																																																			
	小計	10,841	10,271	8,751	8,023	8,093																																																																			
中学校	消耗品費	7,261	7,291	7,508	7,796	7,175																																																																			
	備品購入費	757	332	349	279	468																																																																			
	小計	8,018	7,623	7,857	8,075	7,643																																																																			

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																																												
2-1-1-3	学校図書館ネットワーク事業	・学校図書館と市立図書館のICTを活用したネットワーク化	・令和2年度に学校図書館ネットワークを統一し、全ての市立小中学校へ学校図書館システムを導入した。 ※令和3年度以降は運用にかかる維持管理経費のみ	・全市立小中学校へのシステム導入と運用統一により、図書管理の効率化が図られた。 ・学校間及び市立図書館との蔵書情報共有やオンライン予約等により、読書環境が充実した。	・現行システムのPC管理ライセンス期間終了に伴い、令和7年度中の更新作業が必要である。 ・最大1年の延長期間後には、機器及びシステムの更新が必須となる。 ・現行仕様を見直し、必要最小限の更新とすることで費用を圧縮することが求められる。	学校教育課 学校教育係																																														
2-1-1-4	理科教材等整備事業	・理科教育の振興に向けた理科及び算数（数学）教材の整備	・授業で利用する理科備品等について、国の補助金を活用しながら整備を行った。 ・授業に不可欠な教材備品について整備充実を図った。 ・備品整備実績（単位：千円）	・国の補助金を活用し、授業に不可欠な理科備品等を整備充実した。 ・計画的な整備により、授業の充実が図られている。	・授業の充実を図るため、計画的な備品整備を継続するための財源確保が必要である。	教育総務課 庶務係																																														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>教材区分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>一般教材</td> <td>18,375</td> <td>17,623</td> <td>14,362</td> <td>14,621</td> <td>15,507</td> </tr> <tr> <td>理科教材</td> <td>4,741</td> <td>4,767</td> <td>3,647</td> <td>3,207</td> <td>3,864</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>23,116</td> <td>22,390</td> <td>18,009</td> <td>17,828</td> <td>19,371</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>一般教材</td> <td>19,739</td> <td>16,732</td> <td>15,858</td> <td>15,019</td> <td>15,622</td> </tr> <tr> <td>理科教材</td> <td>3,640</td> <td>3,572</td> <td>3,110</td> <td>3,079</td> <td>3,381</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>23,379</td> <td>20,304</td> <td>18,968</td> <td>18,098</td> <td>19,003</td> </tr> </tbody> </table>	学校区分	教材区分	R3	R4	R5	R6	R7	小学校	一般教材	18,375	17,623	14,362	14,621	15,507	理科教材	4,741	4,767	3,647	3,207	3,864	小計	23,116	22,390	18,009	17,828	19,371	中学校	一般教材	19,739	16,732	15,858	15,019	15,622	理科教材	3,640	3,572	3,110	3,079	3,381	小計	23,379	20,304	18,968	18,098	19,003				
学校区分	教材区分	R3	R4	R5	R6	R7																																														
小学校	一般教材	18,375	17,623	14,362	14,621	15,507																																														
	理科教材	4,741	4,767	3,647	3,207	3,864																																														
	小計	23,116	22,390	18,009	17,828	19,371																																														
中学校	一般教材	19,739	16,732	15,858	15,019	15,622																																														
	理科教材	3,640	3,572	3,110	3,079	3,381																																														
	小計	23,379	20,304	18,968	18,098	19,003																																														
2-1-1-5	コンピュータ整備事業	・児童生徒、教職員用パソコン機器の整備 ・小中学校の通信環境の整備	・端末等整備状況	・校務用PCや統合型校務支援システムの整備により、教員の業務効率化と負担軽減に努めた。 ・GIGAスクール構想に基づくICT環境整備を進め、個別最適な学びや協働学習を推進し、児童生徒の主体的な学習態度の醸成と教育の質の向上に努めた。	・整備したICT環境を最大限活用し、教育効果を持続的に高めるための、教員のICT活用指導力の向上と研修機会の確保。 ・導入機器の安定的運用、計画的な更新のための財源確保、情報セキュリティ対策の継続、家庭環境によるデジタル格差への対応が重要である。	教育総務課 教育企画係																																														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">校務系</th> <th colspan="2">学習系</th> </tr> <tr> <th>児童生徒用</th> <th>教職員用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用PC</td> <td>880台</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>学習用タブレット</td> <td>-</td> <td>7,828台</td> <td>676台</td> </tr> <tr> <td>印刷環境</td> <td colspan="3">EPSON社のカラー複合機（定額制）を各校に複数台整備。</td> </tr> <tr> <td>データ保存環境</td> <td colspan="3">市データセンター内にファイルサーバを設置。</td> </tr> <tr> <td>ネットワーク環境</td> <td colspan="3">全普通教室・特別教室・体育館・職員室におけるネットワーク環境を整備。</td> </tr> <tr> <td>セキュリティ環境</td> <td colspan="3">校務系においては生体認証システム、不正端末接続遮断システム、総合脅威管理システム等を運用。</td> </tr> <tr> <td>使用システム</td> <td colspan="3">【校務系】統合型校務支援システム、GoogleWorkspace 【学習系】Microsoft365、学習eポータル、デジタルドリル、授業支援ソフト等</td> </tr> </tbody> </table>		校務系	学習系		児童生徒用	教職員用	業務用PC	880台	-	-	学習用タブレット	-	7,828台	676台	印刷環境	EPSON社のカラー複合機（定額制）を各校に複数台整備。			データ保存環境	市データセンター内にファイルサーバを設置。			ネットワーク環境	全普通教室・特別教室・体育館・職員室におけるネットワーク環境を整備。			セキュリティ環境	校務系においては生体認証システム、不正端末接続遮断システム、総合脅威管理システム等を運用。			使用システム	【校務系】統合型校務支援システム、GoogleWorkspace 【学習系】Microsoft365、学習eポータル、デジタルドリル、授業支援ソフト等																	
	校務系	学習系																																																		
		児童生徒用	教職員用																																																	
業務用PC	880台	-	-																																																	
学習用タブレット	-	7,828台	676台																																																	
印刷環境	EPSON社のカラー複合機（定額制）を各校に複数台整備。																																																			
データ保存環境	市データセンター内にファイルサーバを設置。																																																			
ネットワーク環境	全普通教室・特別教室・体育館・職員室におけるネットワーク環境を整備。																																																			
セキュリティ環境	校務系においては生体認証システム、不正端末接続遮断システム、総合脅威管理システム等を運用。																																																			
使用システム	【校務系】統合型校務支援システム、GoogleWorkspace 【学習系】Microsoft365、学習eポータル、デジタルドリル、授業支援ソフト等																																																			
2-1-1-6	放射性物質汚染対策事業	・校園庭における放射線量の一斉測定の実施	・校園庭の空間放射線量測定 ・過去の除染工事等低減対策における汚染土壌の埋設箇所の空間放射線量と地表面の異常の有無の確認 ・学校等における放射線量一斉測定結果平均	・定期的な測定を通じて学校施設の放射線量の状況を適切に把握した。 ・測定結果等をホームページで公表し、住民の不安軽減に貢献した。	・除去土壌について、今後国の処理基準に基づき処分を検討するにあたり、処分費用の負担等の問題が想定される。	教育総務課 教育企画係																																														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度（見込み）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.038μ Sv/h</td> <td>0.039μ Sv/h</td> <td>0.035μ Sv/h</td> <td>0.041μ Sv/h</td> <td>0.041μ Sv/h</td> </tr> </tbody> </table>	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度（見込み）	0.038μ Sv/h	0.039μ Sv/h	0.035μ Sv/h	0.041μ Sv/h	0.041μ Sv/h																																							
R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度（見込み）																																																
0.038μ Sv/h	0.039μ Sv/h	0.035μ Sv/h	0.041μ Sv/h	0.041μ Sv/h																																																

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																								
2-1-2-1	緊急情報相互連絡システム運用事業	・保護者に対するメール配信による災害時の安否等の情報提供に係るシステムの管理	・主な実績（R6までは「安心でんじょばと」、R7からは「まなびポケット」による運用に統一） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		小学校	中学校	R3実績	100%	100%	R4実績	100%	100%	R5実績	100%	100%	R6実績	100%	100%	R7実績	100%	100%	・災害等の緊急時における児童生徒の安否確認や学校からの緊急情報を保護者へ一斉配信する体制が定着している。	・新しいシステムとしての導入のため、利用に慣れるまでには一定の時間を要してしまう。	学校教育課 指導班								
	小学校	中学校																														
R3実績	100%	100%																														
R4実績	100%	100%																														
R5実績	100%	100%																														
R6実績	100%	100%																														
R7実績	100%	100%																														
2-1-2-2	命をつなぐプロジェクト事業	・中学校での心肺蘇生法に関する学習の実施 ・教職員等の救急救命講習会受講 ・教職員等に対する応急手当普及講習会の開催	・令和4年度まで心肺蘇生音声誘導器を市内全中学校の1年生を対象に毎年配布した。市内全中学校に成人心肺蘇生訓練用マネキンを配置し、消防署、国際医療福祉専門学校から講師派遣等の支援を受けながら、生徒は保健体育の授業又は学校の計画により学習した。 ・市立小中学校の教職員、保護者、PTAなどを対象とした講習会を開催し、心肺蘇生法、AED操作の習得を進めるとともに、各学校に1名以上の応急手当普及員を養成した。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>心肺蘇生音声誘導器購入費</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>心肺蘇生音声誘導器購入費</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>講習会用消耗品購入費</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>講習会用消耗品購入費</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>講習会用消耗品購入費</td> </tr> </tbody> </table>	R3実績	心肺蘇生音声誘導器購入費	R4実績	心肺蘇生音声誘導器購入費	R5実績	講習会用消耗品購入費	R6実績	講習会用消耗品購入費	R7実績	講習会用消耗品購入費	・中学生等を対象とした普通救命講習会や、教職員を対象とした応急手当普及員講習会を実施し、救命ノウハウを備えた人材の育成が図られた。	・令和5年度から心肺蘇生音声誘導器の配布を廃止したことに伴い、事業内容が講習会のみに縮小した。	学校教育課 学校教育係																
R3実績	心肺蘇生音声誘導器購入費																															
R4実績	心肺蘇生音声誘導器購入費																															
R5実績	講習会用消耗品購入費																															
R6実績	講習会用消耗品購入費																															
R7実績	講習会用消耗品購入費																															
2-1-3-1	奨学金貸与事業	・経済的に修学が困難な学生に対する奨学金の貸与	・市内に在住する経済的な理由により修学が困難な学生の修学機会確保のため、奨学金を貸与し、人材育成を図るため、貸付金は公立学校の授業料相当分とし、月額で高校生 12,000 円、高専生 20,000 円、大学生等 45,000 円を正規の修学年間分無利子で貸し付けた。 ・新規奨学生実績（単位：人） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校生</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>高専生</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>大学生等</td> <td>44</td> <td>25</td> <td>40</td> <td>21</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R4	R5	R6	R7	高校生	6	2	5	4	18	高専生	0	1	0	3	3	大学生等	44	25	40	21	57	・経済的理由により修学が困難な学生の修学機会確保に寄与している。	・新規償還開始分の未納は減少しているが、過年度からの滞納繰越分が減少していない。	教育総務課 庶務係		B
	R3	R4	R5	R6	R7																											
高校生	6	2	5	4	18																											
高専生	0	1	0	3	3																											
大学生等	44	25	40	21	57																											

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																																																																																																																																																																																																																																																										
2-1-3-2	遠距離通学者通学支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの運行と車両の計画的な更新 ・市営バス等を利用する遠距離通学児童生徒への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学者の負担を軽減するため、スクールバスを整備するとともに、計画的な運行を行う。 ・スクールバスの運行（単位：台） <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>48</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>83</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table> ・スクールバスの更新・追加購入（単位：台） <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・スクールバスでカバーできない遠距離通学児童、生徒の保護者に対し、補助金を交付した。大東地区、千歳地区、藤沢地区では市営バスへの料金補填による支援も行った。 ・補助金交付対象 4 km以上の小学生、6 km以上の中学生 ・補助金交付実績（東山：スクールバスで対応 室根：小学校統合後はスクールバスで対応、中学生はスクールバスで対応） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域</th> <th rowspan="2">小中の別</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <th>金額（円）</th> <th>金額（円）</th> <th>金額（円）</th> <th>金額（円）</th> <th>金額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">一関</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>人数</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>242,800</td> <td>156,000</td> <td>130,500</td> <td>83,200</td> <td>156,780</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学生</td> <td>金額</td> <td>186,100</td> <td>150,800</td> <td>78,300</td> <td>59,800</td> <td>187,200</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>47,700</td> <td>44,600</td> <td>26,100</td> <td>26,000</td> <td>62,712</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">花泉</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>人数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>47,700</td> <td>44,600</td> <td>26,100</td> <td>26,000</td> <td>62,712</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大東</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>金額</td> <td>36,900</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>93,600</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>459,260</td> <td>451,500</td> <td>504,900</td> <td>471,340</td> <td>464,688</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">千歳</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>人数</td> <td>72</td> <td>68</td> <td>145</td> <td>129</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>6,328,100</td> <td>6,415,300</td> <td>16,243,600</td> <td>14,945,300</td> <td>13,471,200</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">藤沢</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>金額</td> <td>178,360</td> <td>194,560</td> <td>434,530</td> <td>239,840</td> <td>276,552</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2,532,500</td> <td>1,606,500</td> <td>1,066,410</td> <td>916,000</td> <td>1,250,712</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">室根</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>人数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>28,600</td> <td>8,600</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">川崎</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>金額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>57,700</td> <td>31,200</td> <td>31,300</td> <td>57,200</td> <td>94,068</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">藤沢</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>人数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>37,100</td> <td>72,800</td> <td>73,000</td> <td>72,800</td> <td>140,400</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">藤沢</td> <td rowspan="3">小学生</td> <td>金額</td> <td></td> <td>104,400</td> <td>52,200</td> <td>36,800</td> <td>94,068</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>756,000</td> <td>855,400</td> <td>540,000</td> <td>604,000</td> <td>802,800</td> </tr> </tbody> </table> 	学校区分	R3	R4	R5	R6	R7	小学校	48	53	53	53	53	中学校	22	23	23	23	22	幼稚園	10	9	9	7	7	計	80	85	85	83	82	学校区分	R3	R4	R5	R6	R7	小学校	1	4	1	0	0	中学校	1	1	0	1	1	幼稚園						地域	小中の別	内訳	R3	R4	R5	R6	R7	金額（円）	金額（円）	金額（円）	金額（円）	金額（円）	一関	小学生	人数	8	6	5	3	5	金額	242,800	156,000	130,500	83,200	156,780	人数	5	4	2	2	4	中学生	金額	186,100	150,800	78,300	59,800	187,200	人数	2	2	1	1	2	金額	47,700	44,600	26,100	26,000	62,712	花泉	小学生	人数	2	2	1	1	2	金額	47,700	44,600	26,100	26,000	62,712	人数	1				2	大東	小学生	金額	36,900				93,600	人数	12	12	14	13	14	金額	459,260	451,500	504,900	471,340	464,688	千歳	小学生	人数	72	68	145	129	127	金額	6,328,100	6,415,300	16,243,600	14,945,300	13,471,200	人数	6	6	7	7	8	藤沢	小学生	金額	178,360	194,560	434,530	239,840	276,552	人数	24	16	13	10	14	金額	2,532,500	1,606,500	1,066,410	916,000	1,250,712	室根	小学生	人数	1	1				金額	28,600	8,600				人数						川崎	小学生	金額						人数	2	1	1	2	3	金額	57,700	31,200	31,300	57,200	94,068	藤沢	小学生	人数	1	2	2	2	3	金額	37,100	72,800	73,000	72,800	140,400	人数	2	2	2	2	3	藤沢	小学生	金額		104,400	52,200	36,800	94,068	人数	9	7	5	6	8	金額	756,000	855,400	540,000	604,000	802,800	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの運行により、遠距離通学者の負担軽減を図った。 ・補助金の交付等により、保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な運営が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの老朽化に伴う修繕料の増加。 ・老朽化したバスの計画的な更新が必要であるが、製造メーカーの事業縮小により購入が困難な状況にある。 	教育総務課 庶務係	37	
学校区分	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																																																																																																													
小学校	48	53	53	53	53																																																																																																																																																																																																																																																																													
中学校	22	23	23	23	22																																																																																																																																																																																																																																																																													
幼稚園	10	9	9	7	7																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	80	85	85	83	82																																																																																																																																																																																																																																																																													
学校区分	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																																																																																																													
小学校	1	4	1	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																													
中学校	1	1	0	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																													
幼稚園																																																																																																																																																																																																																																																																																		
地域	小中の別	内訳	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																																																																																																											
			金額（円）	金額（円）	金額（円）	金額（円）	金額（円）																																																																																																																																																																																																																																																																											
一関	小学生	人数	8	6	5	3	5																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	242,800	156,000	130,500	83,200	156,780																																																																																																																																																																																																																																																																											
		人数	5	4	2	2	4																																																																																																																																																																																																																																																																											
	中学生	金額	186,100	150,800	78,300	59,800	187,200																																																																																																																																																																																																																																																																											
		人数	2	2	1	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	47,700	44,600	26,100	26,000	62,712																																																																																																																																																																																																																																																																											
花泉	小学生	人数	2	2	1	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	47,700	44,600	26,100	26,000	62,712																																																																																																																																																																																																																																																																											
		人数	1				2																																																																																																																																																																																																																																																																											
大東	小学生	金額	36,900				93,600																																																																																																																																																																																																																																																																											
		人数	12	12	14	13	14																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	459,260	451,500	504,900	471,340	464,688																																																																																																																																																																																																																																																																											
千歳	小学生	人数	72	68	145	129	127																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	6,328,100	6,415,300	16,243,600	14,945,300	13,471,200																																																																																																																																																																																																																																																																											
		人数	6	6	7	7	8																																																																																																																																																																																																																																																																											
藤沢	小学生	金額	178,360	194,560	434,530	239,840	276,552																																																																																																																																																																																																																																																																											
		人数	24	16	13	10	14																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	2,532,500	1,606,500	1,066,410	916,000	1,250,712																																																																																																																																																																																																																																																																											
室根	小学生	人数	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																														
		金額	28,600	8,600																																																																																																																																																																																																																																																																														
		人数																																																																																																																																																																																																																																																																																
川崎	小学生	金額																																																																																																																																																																																																																																																																																
		人数	2	1	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	57,700	31,200	31,300	57,200	94,068																																																																																																																																																																																																																																																																											
藤沢	小学生	人数	1	2	2	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	37,100	72,800	73,000	72,800	140,400																																																																																																																																																																																																																																																																											
		人数	2	2	2	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																											
藤沢	小学生	金額		104,400	52,200	36,800	94,068																																																																																																																																																																																																																																																																											
		人数	9	7	5	6	8																																																																																																																																																																																																																																																																											
		金額	756,000	855,400	540,000	604,000	802,800																																																																																																																																																																																																																																																																											

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																																																		
2-1-3-3	就学援助事業	・経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者への経済的支援	<p>・主な実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>認定者数</th> <th>全児童生徒数</th> <th>受給率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>小学校</td> <td>432人（うち要保護17人）</td> <td>4,891人</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>292人（うち要保護10人）</td> <td>2,677人</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>小学校</td> <td>399人（うち要保護12人）</td> <td>4,740人</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>278人（うち要保護14人）</td> <td>2,063人</td> <td>10.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R5</td> <td>小学校</td> <td>379人（うち要保護11人）</td> <td>4,530人</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>225人（うち要保護8人）</td> <td>2,539人</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R6</td> <td>小学校</td> <td>369人（うち要保護8人）</td> <td>4,321人</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>258人（うち要保護11人）</td> <td>2,431人</td> <td>10.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R7</td> <td>小学校</td> <td>340人（うち要保護7人）</td> <td>4,088人</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>232人（うち要保護8人）</td> <td>2,336人</td> <td>10.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	区分	認定者数	全児童生徒数	受給率	R3	小学校	432人（うち要保護17人）	4,891人	8.8%	中学校	292人（うち要保護10人）	2,677人	10.9%	R4	小学校	399人（うち要保護12人）	4,740人	8.4%	中学校	278人（うち要保護14人）	2,063人	10.7%	R5	小学校	379人（うち要保護11人）	4,530人	8.4%	中学校	225人（うち要保護8人）	2,539人	8.9%	R6	小学校	369人（うち要保護8人）	4,321人	8.5%	中学校	258人（うち要保護11人）	2,431人	10.6%	R7	小学校	340人（うち要保護7人）	4,088人	8.5%	中学校	232人（うち要保護8人）	2,336人	10.3%	<p>・学校と連携して制度の周知に努め、支援が必要な児童生徒の保護者による制度活用を図った。</p>	<p>・きめ細かな広報活動を継続し、援助が必要な児童生徒に確実な援助が行われるよう努める必要がある。</p>	学校教育課 学校教育係		A
年度	区分	認定者数	全児童生徒数	受給率																																																						
R3	小学校	432人（うち要保護17人）	4,891人	8.8%																																																						
	中学校	292人（うち要保護10人）	2,677人	10.9%																																																						
R4	小学校	399人（うち要保護12人）	4,740人	8.4%																																																						
	中学校	278人（うち要保護14人）	2,063人	10.7%																																																						
R5	小学校	379人（うち要保護11人）	4,530人	8.4%																																																						
	中学校	225人（うち要保護8人）	2,539人	8.9%																																																						
R6	小学校	369人（うち要保護8人）	4,321人	8.5%																																																						
	中学校	258人（うち要保護11人）	2,431人	10.6%																																																						
R7	小学校	340人（うち要保護7人）	4,088人	8.5%																																																						
	中学校	232人（うち要保護8人）	2,336人	10.3%																																																						
2-1-3-4	私立高等学校生徒学費補助事業	・私立高校に在学している生徒の就学に係る保護者等の負担軽減を図るための補助	<p>・主な実績（交付件数）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table>	R3実績	0件	R4実績	3件	R5実績	1件	R6実績	3件	R7実績	5件	<p>・私立高校生の修学に係る経済的負担を軽減し、進学希望者の教育選択の幅を広げた。</p>	<p>・国の就学支援金拡充により交付件数は減少したが、一定数の該当者は存在している。しかし、令和8年度からの支援金上限引上げにより、本補助金を見直す必要がある。</p>	学校教育課 学校教育係																																										
R3実績	0件																																																									
R4実績	3件																																																									
R5実績	1件																																																									
R6実績	3件																																																									
R7実績	5件																																																									
2-1-3-5	私立学校運営費補助事業	・私立学校の健全な発展を図るための補助	<p>・主な実績（交付件数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付件数</th> <th>交付学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>5件</td> <td>高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>5件</td> <td>高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>5件</td> <td>高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>5件</td> <td>高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>6件</td> <td>高等学校2校、短期大学1校、専門学校3校</td> </tr> </tbody> </table>		交付件数	交付学校	R3実績	5件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校	R4実績	5件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校	R5実績	5件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校	R6実績	5件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校	R7実績	6件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校3校	<p>・私立学校の運営費補助により、教育条件の維持向上及び経営の健全化を支援した。</p>	<p>・補助金に依存しない健全な運営のためには、学生の確保が最大の課題である。</p>	学校教育課 学校教育係																																		
	交付件数	交付学校																																																								
R3実績	5件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校																																																								
R4実績	5件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校																																																								
R5実績	5件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校																																																								
R6実績	5件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校2校																																																								
R7実績	6件	高等学校2校、短期大学1校、専門学校3校																																																								
2-1-3-6	実費徴収補給付事業	・幼稚園等が実費徴収する給食費、教材費、行事費に係る低所得者世帯への経済的支援	<p>・主な実績（対象者、給付件数）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>給食費／対象者83人、教材費等／対象者17人</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>給食費／対象者57人、教材費等／対象者12人</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>給付件数51件</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>給付件数42件</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>給付見込60件</td> </tr> </tbody> </table>	R3実績	給食費／対象者83人、教材費等／対象者17人	R4実績	給食費／対象者57人、教材費等／対象者12人	R5実績	給付件数51件	R6実績	給付件数42件	R7実績	給付見込60件	<p>・低所得世帯の教育に係る実費負担を軽減し、質の高い教育機会と健やかな成長を支援した。</p>	<p>・対象となる家庭が条件を理解し、漏れなく申請できるよう周知を徹底していく必要がある。</p>	学校教育課 学校教育係																																										
R3実績	給食費／対象者83人、教材費等／対象者17人																																																									
R4実績	給食費／対象者57人、教材費等／対象者12人																																																									
R5実績	給付件数51件																																																									
R6実績	給付件数42件																																																									
R7実績	給付見込60件																																																									
2-1-3-7	下宿等費用補助金事業	・下宿等の家賃に要する費用に対する支援	<p>・親元を離れ一関市内の高等学校等に通学する生徒の保護者が支払う下宿等の家賃に要する費用に対し補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td></td> <td>162</td> <td>165</td> <td>190</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>8,605</td> <td>8,820</td> <td>10,205</td> <td>9,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	R3	R4	R5	R6	R7	件数		162	165	190	150	金額		8,605	8,820	10,205	9,000	<p>・補助金交付により、学生世帯の経済的負担を軽減した。</p>	<p>・途中退寮した場合の請求手続きに遅延が見られる。</p>	教育総務課 庶務係		A																																
事業費	R3	R4	R5	R6	R7																																																					
件数		162	165	190	150																																																					
金額		8,605	8,820	10,205	9,000																																																					

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																							
2-1-4-1	事務処理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 校務支援システム導入の検討 教職員の長時間勤務の是正を図り、教職員がいきいきと仕事にむかうことにより、教育の質の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の勤務状況の把握と長時間残業の禁止 業務の効率化・精選による仕事の見直しと働き方の意識啓発 中学校部活動の休業日設定と制限時間の設定 <p>○ 残業時間の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>年度</th> <th>45時間/月(人)</th> <th>80時間/月(人)</th> <th>20時以降勤務(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">小</td> <td>3</td> <td>380</td> <td>6</td> <td>1368</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>444</td> <td>18</td> <td>1684</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>697</td> <td>19</td> <td>2230</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>736</td> <td>15</td> <td>1723</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中</td> <td>3</td> <td>337</td> <td>9</td> <td>2953</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>292</td> <td>11</td> <td>1646</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>658</td> <td>12</td> <td>2355</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>554</td> <td>18</td> <td>3262</td> </tr> </tbody> </table>		年度	45時間/月(人)	80時間/月(人)	20時以降勤務(人)	小	3	380	6	1368	4	444	18	1684	5	697	19	2230	6	736	15	1723	中	3	337	9	2953	4	292	11	1646	5	658	12	2355	6	554	18	3262	<ul style="list-style-type: none"> 勤務実態の可視化が進み、小学校では時間管理に対する意識が向上し、長時間勤務者が減少した。 中学校では勤務実態の把握と見直しに向けた基盤づくりが進んだ。 統合型校務支援システムの導入が開始され、円滑な活用に向けた準備が進められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 20時以降の残業を解消するための、勤務時間の見える化と業務終了時刻の厳守。 業務の無駄の洗い出しや見直しによる行事の精選。 校務支援システムの多機能連携による業務効率化。 	学校教育課		B
	年度	45時間/月(人)	80時間/月(人)	20時以降勤務(人)																																											
小	3	380	6	1368																																											
	4	444	18	1684																																											
	5	697	19	2230																																											
	6	736	15	1723																																											
中	3	337	9	2953																																											
	4	292	11	1646																																											
	5	658	12	2355																																											
	6	554	18	3262																																											
2-1-4-2	部活動の改善	<ul style="list-style-type: none"> 部活動に係る活動方針に基づく推進 	<ul style="list-style-type: none"> 主な実績（地域部活動へ移行した部活動数） <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>2団体</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>18団体（全日型3、休日型15）</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>47団体（全日型4、休日型43）</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>69団体（全日型9、休日型60）</td> </tr> </tbody> </table>	R3実績	該当なし	R4実績	2団体	R5実績	18団体（全日型3、休日型15）	R6実績	47団体（全日型4、休日型43）	R7実績	69団体（全日型9、休日型60）	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度から地域部活動支援補助金による支援を行った結果、令和4年度からの3年間で地域部活動への登録団体数が増加しており、段階的で円滑な移行が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の確保、運営費用、活動場所の確保が課題である。今後は、まちづくり推進部と連携を深めながら事業を推進する必要がある。 	学校教育課 指導班		B																													
R3実績	該当なし																																														
R4実績	2団体																																														
R5実績	18団体（全日型3、休日型15）																																														
R6実績	47団体（全日型4、休日型43）																																														
R7実績	69団体（全日型9、休日型60）																																														

事業評価シート一覧（社会教育・3班）

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																												
3-1-1-1	市民センター事業	・市民センターを中心とした少年教育、青年教育、成人教育、高齢者教育事業の実施	<p>・各市民センターで実施する社会教育と地域づくりに関する事業数と参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業数</td> <td>803 事業</td> <td>1,003 事業</td> <td>1,159 事業</td> <td>1,172 事業</td> <td>1,172 事業</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>36,865 人</td> <td>43,695 人</td> <td>57,886 人</td> <td>59,220 人</td> <td>59,220 人</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R4	R5	R6	R7（見込）	事業数	803 事業	1,003 事業	1,159 事業	1,172 事業	1,172 事業	参加者数	36,865 人	43,695 人	57,886 人	59,220 人	59,220 人	<p>・多様な学習機会の提供により、生涯各時期における社会教育の充実が図られた。</p> <p>・市民センターを社会教育主事が巡回し、企画等を支援した。</p>	<p>・市民センターの職員が専門的知識・技能を習得できるよう支援し、社会教育事業の充実を図ること。</p> <p>・現代的課題に関するテーマを設定し、全市民センターでテーマに沿った取組を継続すること。</p>	いきがいきづくり課 市民センター係	38	B										
	R3	R4	R5	R6	R7（見込）																															
事業数	803 事業	1,003 事業	1,159 事業	1,172 事業	1,172 事業																															
参加者数	36,865 人	43,695 人	57,886 人	59,220 人	59,220 人																															
3-1-1-2	青少年健全育成事業	・未来を担う心豊かで意欲に満ちた青少年を育成する。	<p>・青少年健全育成に対する補助</p> <p>・県主催「いわて希望塾」への参加助成（報償費）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 助成</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R4 助成</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R5 助成</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>R6 助成</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>		人数	R3 助成	0	R4 助成	0	R5 助成	14	R6 助成	9	<p>・青少年の健全育成や社会参加の機会創出に繋がっている。</p> <p>・県内他市町村の生徒との交流の場を提供している。</p>	<p>・青少年健全育成を支援する方法について検討していく。</p>	いきがいきづくり課 市民センター係																				
	人数																																			
R3 助成	0																																			
R4 助成	0																																			
R5 助成	14																																			
R6 助成	9																																			
3-1-1-3	英語の森キャンプ事業	・小中学生が英語での生活や外国文化を体験する研修の実施	<p>・中学生は2泊3日の集団生活《一関市と平泉町の中学2年生（附属中を含む）》研修を実施した。</p> <p>・小学生は1泊2日の集団生活（一関市と平泉町の小学6年生）による宿泊研修を実施した。（～令和6年度）</p> <p>・小学生は、令和7年度より日帰りの集団生活（一関市と平泉町の小学6年生）による研修を実施予定。</p> <p>・アンケートで「楽しかった」、「英語力の向上につながった」と回答した児童・生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>中止</td> <td>95%</td> <td>90%</td> <td>93%</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>中止</td> <td>93%</td> <td>91%</td> <td>93%</td> <td>94%</td> </tr> </tbody> </table>	実績	R3	R4	R5	R6	R7(目標)	中学生	中止	95%	90%	93%	94%	小学生	中止	93%	91%	93%	94%	<p>・英語での集団生活や外国文化体験を通じ、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上や、英語への興味関心が高まった。</p>	<p>・本事業での経験が英語学習の意欲向上に大きな影響を与えていることから、今後も内容の充実を図る。</p> <p>・小学生の参加者が少ないことから、宿泊研修から日帰り研修（令和7年度より）へ開催方法を見直した。</p>	いきがいきづくり課 いきがいきづくり係		A										
実績	R3	R4	R5	R6	R7(目標)																															
中学生	中止	95%	90%	93%	94%																															
小学生	中止	93%	91%	93%	94%																															
3-1-1-4	成人式開催事業	・新たな門出を祝い、励まし、大人としての自覚を促すため成人式を開催	<p>・成人式参加者数（※R4から「二十歳のつどい」に名称変更）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>参加者数</th> <th>案内者数</th> <th>出席率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績(R2 延期分)</td> <td>608 人</td> <td>1,219 人</td> <td>49.9%</td> </tr> <tr> <td>R3 実績(R3 分)</td> <td>863 人</td> <td>1,135 人</td> <td>76.0%</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>845 人</td> <td>1,113 人</td> <td>75.9%</td> </tr> <tr> <td>R5 実績</td> <td>911 人</td> <td>1,126 人</td> <td>80.9%</td> </tr> <tr> <td>R6 実績</td> <td>854 人</td> <td>1,056 人</td> <td>80.9%</td> </tr> <tr> <td>R7 見込</td> <td>—</td> <td>1,013 人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		参加者数	案内者数	出席率	R3 実績(R2 延期分)	608 人	1,219 人	49.9%	R3 実績(R3 分)	863 人	1,135 人	76.0%	R4 実績	845 人	1,113 人	75.9%	R5 実績	911 人	1,126 人	80.9%	R6 実績	854 人	1,056 人	80.9%	R7 見込	—	1,013 人	—	<p>・式典出席者の態度は良好であり、開催目的を達成している。</p> <p>・実行委員としての記念行事の企画</p> <p>・運営を通じ、大人としての自覚を促すことに繋がった。</p>	<p>・市外へ転出した対象者への周知方法の検討。</p>	いきがいきづくり課 いきがいきづくり係		
	参加者数	案内者数	出席率																																	
R3 実績(R2 延期分)	608 人	1,219 人	49.9%																																	
R3 実績(R3 分)	863 人	1,135 人	76.0%																																	
R4 実績	845 人	1,113 人	75.9%																																	
R5 実績	911 人	1,126 人	80.9%																																	
R6 実績	854 人	1,056 人	80.9%																																	
R7 見込	—	1,013 人	—																																	

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																				
3-1-1-5	社会教育団体活動費補助事業	・社会教育団体や地域の女性団体等の活動の支援、育成	<p>・社会教育に関する事業を行う団体に対し補助金を交付した</p> <p>①教育振興運動実践活動事業団体 ②社会教育関係団体活動事業団体 ③女性団体活動事業団体 ④ユネスコ協会活動事業団体 ⑤青少年健全育成事業団体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象団体 No.</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 交付団体数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R4 交付団体数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R5 交付団体数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R6 交付団体数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R7 交付団体数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	対象団体 No.	①	②	③	④	⑤	R3 交付団体数	5	2	6	1	0	R4 交付団体数	5	2	6	1	0	R5 交付団体数	5	2	6	1	0	R6 交付団体数	5	2	6	1	0	R7 交付団体数	5	2	6	1	1	<p>・地域の教育課題解決に向けた自主的な運動が、教育力の向上に寄与している。</p> <p>・女性団体の活動が、地域の活性化に重要な役割を果たしている。</p>	<p>・近年、青少年健全育成事業への助成実績がないことから、他の社会教育団体等への支援</p> <p>・育成方法についても検討する。</p>	いきがいきづくり課 市民センター係		
対象団体 No.	①	②	③	④	⑤																																							
R3 交付団体数	5	2	6	1	0																																							
R4 交付団体数	5	2	6	1	0																																							
R5 交付団体数	5	2	6	1	0																																							
R6 交付団体数	5	2	6	1	0																																							
R7 交付団体数	5	2	6	1	1																																							
3-1-1-6	学校体育施設開放事業	・小中学校の体育館及びグラウンドの地域への開放	<p>・学校教育に支障がない限り、住民等が利用できるように学校施設の体育館及びグラウンドを開放した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用実績</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数（件）</td> <td>11,077</td> <td>9,277</td> <td>11,942</td> <td>11,592</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>人数（人）</td> <td>166,612</td> <td>150,841</td> <td>185,047</td> <td>177,568</td> <td>180,000</td> </tr> </tbody> </table>	利用実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	件数（件）	11,077	9,277	11,942	11,592	12,000	人数（人）	166,612	150,841	185,047	177,568	180,000	<p>・学校、運営協議会、利用団体と連携し、学校体育施設の利用促進を図った。</p>	<p>・鍵管理人の高齢化と後継者不足が予測されるため、セキュリティ面も考慮した新たな鍵管理方法の検討が必要である。</p> <p>・学校担当者の事務負担（利用者調整等）の軽減。</p>	教育総務課 教育企画係																				
利用実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度																																							
件数（件）	11,077	9,277	11,942	11,592	12,000																																							
人数（人）	166,612	150,841	185,047	177,568	180,000																																							
3-2-1-1	家庭教育支援事業	・しつけやコミュニケーションづくり等家庭の教育力の向上を図るための家庭教育学級等の開催	<p>・市民センター等が実施する家庭教育に関する事業数と参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>68事業</td> <td>1,299人</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>80事業</td> <td>1,796人</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>70事業</td> <td>2,170人</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>60事業</td> <td>2,152人</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>60事業</td> <td>2,170人</td> </tr> </tbody> </table>		事業数	参加者数	R3実績	68事業	1,299人	R4実績	80事業	1,796人	R5実績	70事業	2,170人	R6実績	60事業	2,152人	R7実績	60事業	2,170人	<p>・PTA や市民センター等で保護者の学習機会を提供したことにより、家庭教育の重要性への理解が深まった。</p> <p>・企業への出前講座等を実施し、これまで研修参加が困難であった保護者等も学ぶ機会を得られた。</p>	<p>・「いちのせきの家庭教育10か条」を活用し、関係機関・団体等と連携協力しながら、各種講座の充実と家庭の教育力向上に努めていく。</p>	いきがいきづくり課 市民センター係		B																		
	事業数	参加者数																																										
R3実績	68事業	1,299人																																										
R4実績	80事業	1,796人																																										
R5実績	70事業	2,170人																																										
R6実績	60事業	2,152人																																										
R7実績	60事業	2,170人																																										
3-2-2-1	地域学校協働活動事業（学校支援活動事業）	・地域住民が学校の求めに応じてボランティア活動を行い、学校における子どもたちの学びを支援する	<p>・小中学校 20 校に対して地域コーディネーター11 人を配置し、学校のニーズと地域の人材のマッチングにより、総合的な学習の時間や校外学習への支援、校舎及び学校敷地内の環境整備などを実施</p> <p>・学校支援活動事業開設地域</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R3実績</td> <td>4地域（一関地域、大東地域、東山地域、室根地域）</td> </tr> <tr> <td>R4実績</td> <td>4地域（同上）</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>4地域（同上）</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>6地域（一関地域、大東地域、千厩地域、東山地域、室根地域、藤沢地域）</td> </tr> </tbody> </table>	R3実績	4地域（一関地域、大東地域、東山地域、室根地域）	R4実績	4地域（同上）	R5実績	4地域（同上）	R6実績	6地域（一関地域、大東地域、千厩地域、東山地域、室根地域、藤沢地域）	<p>・学校と地域の連携が深まり、子どもの学習環境が整備された。</p> <p>・円滑な学校運営と、子どもの豊かな情操を涵養する一助となった。</p>	<p>・未実施校への事業説明や意向確認を行い、希望する学校への導入を進める。</p>	いきがいきづくり課 市民センター係		B																												
R3実績	4地域（一関地域、大東地域、東山地域、室根地域）																																											
R4実績	4地域（同上）																																											
R5実績	4地域（同上）																																											
R6実績	6地域（一関地域、大東地域、千厩地域、東山地域、室根地域、藤沢地域）																																											

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																								
3-2-2-2	地域学校協働活動事業（放課後子ども教室事業）	・放課後等の子どもたちの安全・安心な居場所づくりと地域の方々の参画を得た活動の展開	・放課後子ども教室開設小学校区/小学校区の数 <table border="1"> <tr><td>R3実績</td><td>18校区/28校区</td></tr> <tr><td>R4実績</td><td>17校区/27校区</td></tr> <tr><td>R5実績</td><td>16校区/21校区</td></tr> <tr><td>R6実績</td><td>14校区/21校区</td></tr> <tr><td>R7実績</td><td>14校区/21校区</td></tr> </table>	R3実績	18校区/28校区	R4実績	17校区/27校区	R5実績	16校区/21校区	R6実績	14校区/21校区	R7実績	14校区/21校区	・市内14か所に子ども教室を設置し、地域の特性を生かした多様な活動プログラムを提供した。	・未開設の小学校区への設置については、放課後児童クラブと情報共有を図りながら検討していく。 ・既存の教室については、放課後児童クラブとの連携運営を推進する。	いきがいきづくり課 市民センター係		A														
R3実績	18校区/28校区																															
R4実績	17校区/27校区																															
R5実績	16校区/21校区																															
R6実績	14校区/21校区																															
R7実績	14校区/21校区																															
3-2-2-3	教育振興運動推進事業	・地域の課題解決に向けた、「子ども・家庭・学校・地域・行政」の5者の相互連携の推進	・家庭、学校、地域諸団体が各地域の教育振興運動を展開する協議会へ参画し、33の実践区ごとに全県共通課題と地域の課題解決への取組を実施 ・家庭、学校、地域諸団体が、県主催の教育振興運動研修会・県大会に参加 ・全県共通課題である、「情報メディアと上手な付き合い方」への実践区内の取組状況 <table border="1"> <tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7(目標)</td></tr> <tr><td>実績</td><td>88.6%</td><td>85.9%</td><td>85.5%</td><td>88.2%</td><td>95.0%</td></tr> </table>		R3	R4	R5	R6	R7(目標)	実績	88.6%	85.9%	85.5%	88.2%	95.0%	・5者連携による教育振興運動の展開により、地域の教育力の向上が図られている。 ・「一関市教育振興運動推進計画」に基づき、市として統一的な運動を推進している。	・「一関市教育振興運動推進計画」に基づき、市内全域での運動を充実させると共に、学校運営支援協議会との整合性を図る。	いきがいきづくり課 いきがいきづくり係	39	B												
	R3	R4	R5	R6	R7(目標)																											
実績	88.6%	85.9%	85.5%	88.2%	95.0%																											
3-3-1-1	社会教育関係施設整備事業	・老朽化、経年劣化に伴う施設改修等	・主な市民センターの施設整備 【令和3年度】・屋上防水（摺沢）、空調設備改修（川崎） 【令和4年度】・舞台機構設備改修（摺沢）、空調設備更新（川崎） 【令和5年度】・外壁改修（巖美）、屋根塗装改修（川崎） 【令和6年度】・体育館耐震補強工事（磐清水）、講堂屋根改修（松川） 【令和7年度予定】・トイレ改修（関が丘）、屋根改修（花泉）	・市民の生涯学習活動と地域づくりの拠点として、快適な利用環境を維持した。	・老朽化、経年劣化に伴う施設改修等について、緊急性の高いものから計画的に実施していく必要がある。	いきがいきづくり課 市民センター係																										
3-3-2-1	社会教育関係職員研修事業	・社会教育関係職員（市民センターの指定管理者の職員を含む）の資質の向上のための各種研修会・講習会受講の奨励	・社会教育関係職員等の資質を高めるため、県生涯学習推進センターや岩手県社会教育協議会が主催する各種研修会等に、職員等を派遣した。 <table border="1"> <tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>派遣人数</td><td>30</td><td>41</td><td>45</td><td>73</td><td>80</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td>交付件数</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table> ・指定管理市民センターの職員が社会教育主事講習を受講する際の経費に対する補助を実施した。		R3	R4	R5	R6	R7	派遣人数	30	41	45	73	80		R3	R4	R5	R6	R7	交付件数	1	0	1	4	3	・各種研修会等への職員派遣により、研修成果を社会教育事業や地域づくり活動に活用した。 ・指定管理市民センター職員の社会教育主事講習受講を支援し、人づくり・地域づくりの中核を担う人材を育成している。	・指定管理市民センター職員の専門的知識・技能習得への支援を継続し、社会教育事業を充実させる。 ・全ての指定管理市民センターに社会教育士が配置されるよう、社会教育主事講習の受講を支援していく。	いきがいきづくり課 市民センター係		
	R3	R4	R5	R6	R7																											
派遣人数	30	41	45	73	80																											
	R3	R4	R5	R6	R7																											
交付件数	1	0	1	4	3																											
3-4-1-1	資料、情報提供事業	・図書館資料の案内、貸出、予約、レファレンスサービスの実施	・ICタグを使用した図書館管理システムを導入 ・全館でレファレンスサービスを実施 ・レファレンスサービス実施件数 <table border="1"> <tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7見込</td></tr> <tr><td>件数</td><td>1,164</td><td>1,055</td><td>1,033</td><td>1,047</td><td>1,047</td></tr> </table>	年度	R3	R4	R5	R6	R7見込	件数	1,164	1,055	1,033	1,047	1,047	・図書館利用者の利便性向上、情報リテラシーの向上、時間と労力の節約に貢献した。 ・専門知識を持つ職員が信頼性の高い情報源を提供することにより、利用者の調査研究を支援し、満足度を高めた。	・利用者へより一層の周知が必要である。 ・受動的なサービスに留まらず、図書館から能動的な情報（市政情報等）を発信することが必要である。 ・質の高いサービスの提供を行うため、図書館運営の創意工夫が必要である。	一関図書館														
年度	R3	R4	R5	R6	R7見込																											
件数	1,164	1,055	1,033	1,047	1,047																											

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																								
3-4-1-2	子どもの読書推進事業	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会開催や読み聞かせ講習会の開催などにおける図書館と家庭の連携 学校図書館との連携を図り、児童・生徒の読書活動を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児向け(9・10か月児、1歳6か月児、2～6歳児)ブックリスト、小学生向け(低学年・中学年・高学年用)ブックリスト、中高生向けブックリストを作成、配布 各図書館を会場としたボランティア及び職員による「おはなし会」の開催 各学校や保育施設を訪問しての「おはなし会」やブックトークの開催 継続して学校の読書普及員を受け入れ、本の選定の指導助言などを通じて市立図書館と学校との連携を推進 おはなし会開催回数及び参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>450</td> <td>383</td> <td>470</td> <td>544</td> <td>544</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>7,116</td> <td>5,271</td> <td>7,144</td> <td>9,277</td> <td>9,277</td> </tr> </tbody> </table>	実績	R3	R4	R5	R6	R7	回数	450	383	470	544	544	参加者数	7,116	5,271	7,144	9,277	9,277	<ul style="list-style-type: none"> 各種ブックリストの作成。 配布や、おすすめ本コーナーの設置により、子どもの読書意欲を高めた。 読書普及員の受入等を通じ、市立図書館と学校との連携を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期から青年期まで継続して、本への興味を高める働きかけの強化が必要である。乳幼児からのおはなし会やブックリスト活用等より積極的な普及に努める。 学校図書館担当者、読書普及員と連携し、更なる学校図書館支援が求められる。 	一関図書館		A						
実績	R3	R4	R5	R6	R7																											
回数	450	383	470	544	544																											
参加者数	7,116	5,271	7,144	9,277	9,277																											
3-4-1-3	図書館サービス向上事業	<ul style="list-style-type: none"> 移動図書館車の運行、団体貸出による読書推進 高齢者サービス、障がい者サービス、多文化サービスの実施 	<ul style="list-style-type: none"> BM(移動図書館車)等による地域に向いでの個人貸出や団体貸出の実施 病気や障がい等で図書館への来館ができない利用者への郵送貸出サービスの実施 マルチメディアデジ（活字による読書に困難のある方にも利用しやすい資料111点）の収集貸出 スマートフォン等に利用者カードを表示できる「デジタル利用券サービス」とインターネット上に自分のブックリストを作成することができる「読書推進サービス」の周知を継続 個人貸出実績（本館+巡回） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口一人当たり年間貸出点数</td> <td>6.9</td> <td>6.8</td> <td>6.6</td> <td>6.4</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>年間貸出総点数</td> <td>768,922</td> <td>736,965</td> <td>702,857</td> <td>673,531</td> <td>673,531</td> </tr> <tr> <td>各年度末人口</td> <td>110,679</td> <td>108,587</td> <td>106,615</td> <td>104,494</td> <td>104,494</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R4	R5	R6	R7	人口一人当たり年間貸出点数	6.9	6.8	6.6	6.4	6.4	年間貸出総点数	768,922	736,965	702,857	673,531	673,531	各年度末人口	110,679	108,587	106,615	104,494	104,494	<ul style="list-style-type: none"> 図書館情報システムの活用や移動図書館車の運行等により、市民の多様な読書ニーズに対応した。 点字資料やマルチメディアデジ資料等の収集により、障がいのある利用者へのサービスが向上した。 学校等への読書普及活動と合わせ、児童書の充実に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館サービス、大活字本、録音図書等の更なる活用促進。 郵送貸出サービス及びマルチメディアデジ資料の活用の周知徹底。 高齢者向けサービスや多文化サービス等の継続的な検討と実施。 移動図書館車サービスの計画的な市内全域への展開。 	一関図書館		B
	R3	R4	R5	R6	R7																											
人口一人当たり年間貸出点数	6.9	6.8	6.6	6.4	6.4																											
年間貸出総点数	768,922	736,965	702,857	673,531	673,531																											
各年度末人口	110,679	108,587	106,615	104,494	104,494																											
3-4-2-1	図書館サポーター事業	<ul style="list-style-type: none"> 図書館サポーターの養成と、市民との協働による図書館運営 	<ul style="list-style-type: none"> 一関市立図書館サポーター活動基準を定め、活動にあたっての環境整備を実施 ボランティアは図書館サポーターとして、資料の配架作業やおはなし会、読み聞かせを行い、図書館はその活動を支援 「千厩図書館を応援する友の会」は年2回の「古本市」を開催し、その売り上げを同館に寄贈する取組や、企画展示や講演、イベントなどを開催する「図書館まつり」などを行っており、令和5年度、内閣府のエイジレス・ライフ社会活動参加事例「社会参加章」に選出された。 図書館サポーター登録数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>28</td> <td>37</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R3	R4	R5	R6	R7	個人	11	17	28	37	37	団体	16	17	14	14	14	<ul style="list-style-type: none"> サポーターとの協働により、図書館サービスの充実が図られた。 市民が図書館を身近に感じる機会となり、地域全体の読書文化の向上に繋がった。 行政と市民の協働により、持続可能な運営と文化拠点としての役割強化に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館サポーターの高齢化や団体構成員の固定化が進んでおり、後継者の育成が必要である。 	一関図書館								
年度	R3	R4	R5	R6	R7																											
個人	11	17	28	37	37																											
団体	16	17	14	14	14																											

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																		
3-4-2-2	図書館図書資料整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の充実 ・各地域の歴史や文化を踏まえた特色ある資料の収集、保存、提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズに対応した図書の購入 ・郷土資料の電子化 ・老朽化した資料の精選・整理 ・データベースの利用促進 <p>・主な実績（同規模自治体（人口10～15万人）の公共図書館の蔵書冊数及び順位）</p> <table border="1"> <tr> <td>R4実績</td> <td>985千冊（R4年度4月1日蔵書冊数）</td> <td>1位</td> </tr> <tr> <td>R5実績</td> <td>985千冊（R5年度4月1日蔵書冊数）</td> <td>1位</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>1,017千冊（R6年度4月1日蔵書冊数）</td> <td>1位</td> </tr> </table>	R4実績	985千冊（R4年度4月1日蔵書冊数）	1位	R5実績	985千冊（R5年度4月1日蔵書冊数）	1位	R6実績	1,017千冊（R6年度4月1日蔵書冊数）	1位	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な資料整理により、常に新鮮で適切な資料を維持した。 ・電子図書館サービスの利用が順調に増加している。 ・各種データベースの提供により、利用者の調査研究における利便性が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再入手が困難な地域資料（郷土資料）の劣化を防ぐため、デジタル化を一層推進する必要がある。 ・電子書籍やデータベースの更なる充実と利用促進。 ・既存の蔵書を活用しつつ、新刊の選書に工夫を凝らし、利用者サービスの質を維持することが必要である。 	一関図書館	40	A									
R4実績	985千冊（R4年度4月1日蔵書冊数）	1位																								
R5実績	985千冊（R5年度4月1日蔵書冊数）	1位																								
R6実績	1,017千冊（R6年度4月1日蔵書冊数）	1位																								
3-5-1-1	展示事業	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の充実 ・特別展・企画展・テーマ展等の実施 ・展示の理解を促すための講演会等関連事業の開催 ・スマートフォン等のICTを活用した展示解説の導入 	<table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「芭蕉と真澄—磐井を旅した人々—」（R3.7.10～R3.8.29、来館者1,312人、講演会、講座、ツアー、展示解説会、図録刊行） ・企画展「棟方志功展」（前期R3.9.18～R3.10.24、後期R3.10.29～R3.12.5、来館者11,392人、講演会、ギャラリートーク、茶話会、夜間開館、講談と演奏会、講座、図録刊行） ・テーマ展：3回（来館者2,195人）※3回目はR2に継続 </td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展：「開館25周年記念 皇室と日本美～宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品と岩手～」(前期R4.10.1～R4.10.30、後期R4.11.2～R4.11.27、来館者5,862人、講演会、夜間開館、図録刊行) ・テーマ展：4回（来館者6,311人）※1回目はR3から継続 ・展示解説アプリ「ポケット学芸員」の運用を開始 </td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展：「生誕100年 福井良之助展」（前期R5.9.30～R5.10.29、後期R5.11.1～R5.11.26、来館者2,948人、講演会、朗読と音楽のタバ、ギャラリートーク、講座、夜間開館、図録刊行） ・テーマ展：3回（来館者5,520人） ・記念展示：「佐藤紫煙と過ごす1年」 </td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「江戸の大名屋敷—一関藩・仙台藩—」（R6.9.14～R6.11.24、来館者5,576人、講演会、講座、お茶会、展示解説会、図録刊行） ・企画展：3回（来館者5,077人）※3回目はR7に継続 </td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「千葉胤秀生誕250年 算額の世界」（R7.9.13～R7.11.16、講演会、シンポジウム、見学会、演奏会、講座、展示解説、図録刊行） ・企画展：3回 ※1回目はR6から継続 ・展示解説アプリ「ポケット学芸員」の多言語化 </td> </tr> </table> <p>※令和6年度から「企画展」を「特別展」に、「テーマ展」を「企画展」に分類替。（博物館協議会で決定）</p>	R3	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「芭蕉と真澄—磐井を旅した人々—」（R3.7.10～R3.8.29、来館者1,312人、講演会、講座、ツアー、展示解説会、図録刊行） ・企画展「棟方志功展」（前期R3.9.18～R3.10.24、後期R3.10.29～R3.12.5、来館者11,392人、講演会、ギャラリートーク、茶話会、夜間開館、講談と演奏会、講座、図録刊行） ・テーマ展：3回（来館者2,195人）※3回目はR2に継続 	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展：「開館25周年記念 皇室と日本美～宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品と岩手～」(前期R4.10.1～R4.10.30、後期R4.11.2～R4.11.27、来館者5,862人、講演会、夜間開館、図録刊行) ・テーマ展：4回（来館者6,311人）※1回目はR3から継続 ・展示解説アプリ「ポケット学芸員」の運用を開始 	R5	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展：「生誕100年 福井良之助展」（前期R5.9.30～R5.10.29、後期R5.11.1～R5.11.26、来館者2,948人、講演会、朗読と音楽のタバ、ギャラリートーク、講座、夜間開館、図録刊行） ・テーマ展：3回（来館者5,520人） ・記念展示：「佐藤紫煙と過ごす1年」 	R6	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「江戸の大名屋敷—一関藩・仙台藩—」（R6.9.14～R6.11.24、来館者5,576人、講演会、講座、お茶会、展示解説会、図録刊行） ・企画展：3回（来館者5,077人）※3回目はR7に継続 	R7	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「千葉胤秀生誕250年 算額の世界」（R7.9.13～R7.11.16、講演会、シンポジウム、見学会、演奏会、講座、展示解説、図録刊行） ・企画展：3回 ※1回目はR6から継続 ・展示解説アプリ「ポケット学芸員」の多言語化 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展等の実施は、地域の先人や歴史・文化に対する興味を喚起し学びを深めさせるとともに、入館者の増にもつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季展覧会の来館者の増加や、若年層への興味喚起が課題。より一層の広報活動を図っていく。 	一関市博物館		A								
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「芭蕉と真澄—磐井を旅した人々—」（R3.7.10～R3.8.29、来館者1,312人、講演会、講座、ツアー、展示解説会、図録刊行） ・企画展「棟方志功展」（前期R3.9.18～R3.10.24、後期R3.10.29～R3.12.5、来館者11,392人、講演会、ギャラリートーク、茶話会、夜間開館、講談と演奏会、講座、図録刊行） ・テーマ展：3回（来館者2,195人）※3回目はR2に継続 																									
R4	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展：「開館25周年記念 皇室と日本美～宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品と岩手～」(前期R4.10.1～R4.10.30、後期R4.11.2～R4.11.27、来館者5,862人、講演会、夜間開館、図録刊行) ・テーマ展：4回（来館者6,311人）※1回目はR3から継続 ・展示解説アプリ「ポケット学芸員」の運用を開始 																									
R5	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展：「生誕100年 福井良之助展」（前期R5.9.30～R5.10.29、後期R5.11.1～R5.11.26、来館者2,948人、講演会、朗読と音楽のタバ、ギャラリートーク、講座、夜間開館、図録刊行） ・テーマ展：3回（来館者5,520人） ・記念展示：「佐藤紫煙と過ごす1年」 																									
R6	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「江戸の大名屋敷—一関藩・仙台藩—」（R6.9.14～R6.11.24、来館者5,576人、講演会、講座、お茶会、展示解説会、図録刊行） ・企画展：3回（来館者5,077人）※3回目はR7に継続 																									
R7	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：「千葉胤秀生誕250年 算額の世界」（R7.9.13～R7.11.16、講演会、シンポジウム、見学会、演奏会、講座、展示解説、図録刊行） ・企画展：3回 ※1回目はR6から継続 ・展示解説アプリ「ポケット学芸員」の多言語化 																									
3-5-1-2	古文書及び美術資料等調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書等の歴史資料や美術品のデータベース化 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書等の歴史資料や美術品等の資料について整理・保存措置をとり、収蔵品管理システムによりデータベース化することによって、一般の研究や博物館活動に供することができるようにした。また、主要な資料をホームページ上で公開することによって、市民共有の文化遺産として認知されることに寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データベース化が進み、資料活用の効率化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書は資料滅失の危惧があり、早期の資料調査が必要であるため、人材確保と体制整備を図っていく。 	一関市博物館																				
3-5-2-1	教育普及（交流連携）事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や文化に関する講座や講演会、体験学習等の開催 ・学校や市民センターへの出前形式等による学習支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・館長講座等の各種講座・体験学習などの事業を開催した。 ・「ことばの先人」出前授業、市民センター等が主催する事業に対し、博物館職員を講師として派遣した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>各種講座・体験学習等</th> <th>出前授業・講師派遣等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>14事業 1,589人</td> <td>54件 1,228人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>14事業 1,630人</td> <td>54件 1,744人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>12事業 1,566人</td> <td>61件 1,955人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>12事業 1,279人</td> <td>39件 1,135人</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>12事業 1,615人</td> <td>50件 1,600人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	各種講座・体験学習等	出前授業・講師派遣等	R3	14事業 1,589人	54件 1,228人	R4	14事業 1,630人	54件 1,744人	R5	12事業 1,566人	61件 1,955人	R6	12事業 1,279人	39件 1,135人	R7	12事業 1,615人	50件 1,600人	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座・体験学習等の開催や、学校・市民センター等への講師派遣により、地域の歴史・文化への理解を深められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座等への興味喚起のため、より一層の広報活動を図っていく。 ・学芸員の日程調整が必要なおことから、要望どおり対応できないことがある。 	一関市博物館		B
年度	各種講座・体験学習等	出前授業・講師派遣等																								
R3	14事業 1,589人	54件 1,228人																								
R4	14事業 1,630人	54件 1,744人																								
R5	12事業 1,566人	61件 1,955人																								
R6	12事業 1,279人	39件 1,135人																								
R7	12事業 1,615人	50件 1,600人																								

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																									
4-1-1-1	文化財調査委員等活動推進事業	・文化財調査委員による文化財の調査研究 ・文化財調査協力員による指定文化財の状況把握と未発見史資料の収集	・文化財調査委員は、市内の文化財の保存・活用に関し、文化財指定等についての諮問を受け、答申を出した。このために必要な研究調査を進めている。 ・文化財調査協力員は、文化財の実態調査、資料等の所在調査を行っている。標柱の破損・老朽化に関する情報提供もある。 ・文化財指定数（件） <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </table> ・文化財調査委員に依頼した現地調査回数（回） <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>		R 3	R 4	R 5	R 6	件数	0	1	5	2		R 3	R 4	R 5	R 6	件数	0	4	2	2	・文化財調査委員による調査研究や答申等により、文化財の保護と現状把握を進めた。	・各分野の専門知識を有する人材の確保、委員の高齢化対策、女性委員の確保・拡大が課題である。	文化財課	41						
	R 3	R 4	R 5	R 6																													
件数	0	1	5	2																													
	R 3	R 4	R 5	R 6																													
件数	0	4	2	2																													
4-1-1-2	埋蔵文化財保存管理事業	・埋蔵文化財の発掘調査と文化財保護法等に基づく適切な保護	・埋蔵文化財包蔵地の照会、包蔵地内での開発行為による発掘の届出・通知を受けて、工事立会、試掘調査、発掘調査を実施した。 <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>包蔵地照会（件）</td> <td>507</td> <td>668</td> <td>708</td> <td>715</td> </tr> <tr> <td>工事立会（件）</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>試掘調査（件）</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>発掘調査（件）</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </table>	年度	R 3	R 4	R 5	R 6	包蔵地照会（件）	507	668	708	715	工事立会（件）	8	7	5	7	試掘調査（件）	10	4	8	13	発掘調査（件）	3	2	0	2	・埋蔵文化財包蔵地の照会対応により、開発計画の事前把握と包蔵地の周知が図られた。 ・工事立会や各種調査の実施により、埋蔵文化財の適切な保護が図られた。	・継続的な埋蔵文化財包蔵地の周知徹底。 ・照会件数の増加に伴う、関連事業費の増加。 ・調査に係る人員の確保と育成。	文化財課 文化財係		
年度	R 3	R 4	R 5	R 6																													
包蔵地照会（件）	507	668	708	715																													
工事立会（件）	8	7	5	7																													
試掘調査（件）	10	4	8	13																													
発掘調査（件）	3	2	0	2																													
4-1-1-3	歴史民俗資料等活用整備事業	・市内の歴史・民俗・考古資料の調査研究と公開展示	・H30.11.1 民俗資料館を開館。 ・重要資料の集中管理と効果的な公開活用を行い、適切な環境での保存を図っている。また、並行して既存収蔵施設の整理、集約化を進めている。 ○民俗資料館入館者数（人） <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>民俗資料館</td> <td>1,074</td> <td>1,336</td> <td>1,489</td> <td>1,121</td> </tr> </table>		R 3	R 4	R 5	R 6	民俗資料館	1,074	1,336	1,489	1,121	・民俗資料館が資料等の保存活用拠点施設として充実した。	・展示資料の充実と、体験内容の魅力向上。 ・学校向け施設活用案内の工夫と周知徹底。 ・既存収蔵施設の整理	文化財課 文化財係		B															
	R 3	R 4	R 5	R 6																													
民俗資料館	1,074	1,336	1,489	1,121																													
4-1-1-4	指定文化財調査研究事業	・県指定文化財「原本無刑録」などの指定文化財調査研究 ・キリシタン殉教に関する調査研究	・原本無刑録について、早稲田大学総合研究機構に委託し調査研究を実施した。 ・原本無刑録について調査研究し、資料台帳登録、データベース化し、記念館ホームページで公開した。また、芦東山記念調査研究事業関連講演会を開催した。	・調査研究の実施と成果公開により、地域の文化や歴史、先人への理解を深め、文化財愛護意識と郷土愛の醸成に繋がった。	・若い世代に対する文化財保護や郷土史への意識・関心を高めること。 ・指定文化財の計画的な調査研究の実施。 ・「一関の文化財」の改訂。	文化財課 文化財係																											
4-1-1-5	文化財情報提供事業	・市広報誌、市ホームページを活用した文化財の紹介や各種事業の情報提供	・市広報誌 I-Style、市ホームページ、各種報告書、ポスター・チラシ、各種講演会・報告会などにより文化財愛護思想の普及を推進した。 ・市ホームページに報告書・民俗芸能の映像記録などを掲載し、情報発信を行った。 ○市広報誌（毎月1日号）へ文化財探訪の掲載回数 <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </table>	年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	回数	8	8	8	5	4	・市広報誌やホームページ等を活用した情報発信により、地域の文化財への理解促進と文化財愛護思想の普及啓発に寄与した。	・特に若い世代への文化財愛護思想の普及啓発方法の検討。 ・後継者の確保・育成を視野に入れた情報発信。	文化財課 文化財係															
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7																												
回数	8	8	8	5	4																												

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																													
4-1-1-6	文化財標柱・解説板整備事業	・市内の歴史や文化に関する標柱と解説板の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等が地域の歴史、文化について理解を深められるよう文化財等の標柱や解説板を整備した。 ・標柱、解説板の整備数（基） <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>設置・整備数</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> </table> ※毎年10基の整備を目指す計画として実施		R 3	R 4	R 5	R 6	設置・整備数	10	9	6	10	<ul style="list-style-type: none"> ・標柱等の整備により、市民や来訪者が地域の歴史と文化に触れる機会を提供し、文化財への理解と愛護思想の普及啓発に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等に分かりやすい説明文とし、地域の意見を踏まえた計画的な整備。 ・若い世代の関心を高めるための標記方法の検討。 ・文化財の保存活用を進める上で、その対象となる文化財は、市内のどこにどのようなものがあるか、市民が現地で行くようにしていく取組を継続していく必要がある。 	文化財課 文化財係		B																																			
	R 3	R 4	R 5	R 6																																																	
設置・整備数	10	9	6	10																																																	
4-1-1-7	文化財施設等整備事業	・旧千葉胤秀旧宅の保存ほか各文化財施設の老朽化対策や機能充実のための施設改修等	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の改修や設備の整備を実施した。 <table border="1"> <tr> <td>R 4</td> <td>千葉胤秀旧宅耐震診断（危険度調査）</td> <td>せんまや街角資料館</td> <td>屋根修繕（北面）</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>せんまや街角資料館</td> <td>屋根修理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>千葉胤秀旧宅</td> <td>茅葺屋根応急修繕</td> <td>せんまや街角資料館 屋根修繕</td> </tr> </table>	R 4	千葉胤秀旧宅耐震診断（危険度調査）	せんまや街角資料館	屋根修繕（北面）	R 5	せんまや街角資料館	屋根修理		R 6	千葉胤秀旧宅	茅葺屋根応急修繕	せんまや街角資料館 屋根修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の改修や設備整備の実施により、施設の適正な維持管理が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に必要な改修等を行うこと。 ・旧千葉胤秀旧宅の保存活用の検討。 ・少子高齢化や地縁的なつながりの希薄化を背景に貴重な文化財の適切な維持保存が難しくなっている。 ・文化財を確実に継承していく体制を維持し、魅力ある地域づくりに活かしていく必要がある。 	文化財課 文化財係																																			
R 4	千葉胤秀旧宅耐震診断（危険度調査）	せんまや街角資料館	屋根修繕（北面）																																																		
R 5	せんまや街角資料館	屋根修理																																																			
R 6	千葉胤秀旧宅	茅葺屋根応急修繕	せんまや街角資料館 屋根修繕																																																		
4-1-1-8	文化財公開活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市が所有または管理する指定等建造物の適切な管理と一般公開 ・旧東北砕石工場の公開再開 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が所有する登録有形文化財や県・市指定文化財の建造物を適切に管理しながら広く一般に公開し、市民の文化財保護意識の高揚を図った。 ○文化財公開事業の実績（人） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施設の名称</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">県指定</td> <td>旧鈴木家住宅</td> <td>1,655</td> <td>1,261</td> <td>2,018</td> <td>1,422</td> </tr> <tr> <td>旧沼田家武家住宅</td> <td>2,209</td> <td>3,461</td> <td>4,695</td> <td>5,018</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">市指定</td> <td>千葉胤秀旧宅</td> <td>107</td> <td>64</td> <td>56</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>千厩酒のくら交流館</td> <td>8,156</td> <td>23,580</td> <td>29,354</td> <td>32,595</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">登録有形文化財</td> <td>せんまや街角資料館</td> <td>1,663</td> <td>2,479</td> <td>2,683</td> <td>2,418</td> </tr> <tr> <td>旧東北砕石工場</td> <td>5,103</td> <td>6,936</td> <td>5,758</td> <td>6,882</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,893</td> <td>37,781</td> <td>44,564</td> <td>48,381</td> </tr> </tbody> </table>	区分	施設の名称	R 3	R 4	R 5	R 6	県指定	旧鈴木家住宅	1,655	1,261	2,018	1,422	旧沼田家武家住宅	2,209	3,461	4,695	5,018	市指定	千葉胤秀旧宅	107	64	56	46	千厩酒のくら交流館	8,156	23,580	29,354	32,595	登録有形文化財	せんまや街角資料館	1,663	2,479	2,683	2,418	旧東北砕石工場	5,103	6,936	5,758	6,882	計		1,893	37,781	44,564	48,381	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財建造物の適切な管理 ・保存と一般公開により、市民が文化財を身近に学び、郷土への興味関心を高める機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物の計画的な修繕・改修の実施。 ・特に若い世代への文化財愛護思想の普及啓発。 	文化財課 文化財係		
区分	施設の名称	R 3	R 4	R 5	R 6																																																
県指定	旧鈴木家住宅	1,655	1,261	2,018	1,422																																																
	旧沼田家武家住宅	2,209	3,461	4,695	5,018																																																
市指定	千葉胤秀旧宅	107	64	56	46																																																
	千厩酒のくら交流館	8,156	23,580	29,354	32,595																																																
登録有形文化財	せんまや街角資料館	1,663	2,479	2,683	2,418																																																
	旧東北砕石工場	5,103	6,936	5,758	6,882																																																
計		1,893	37,781	44,564	48,381																																																

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7 評価																																																
4-1-2-1	民俗芸能伝承調査研究事業	・市内に伝承されている民俗芸能の調査研究	<ul style="list-style-type: none"> 調査・研究を行い、「一関市民俗資料調査報告書」（令和4年3月）、「一関食文化調査報告書」（令和6年3月）、「一関民俗芸能調査報告書 学校における取り組み」（令和7年3月）を発行した。 民俗芸能保存団体の活動支援をおこなった。 映像等の記録を作成した。 <p>○活動中の民俗芸能団体数（団体）</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>団体数</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> </table> <p>○映像記録保存数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>団体数</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>		R 3	R 4	R 5	R 6	団体数	60	60	60	60		R 3	R 4	R 5	R 6	団体数	-	4	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 保存団体への支援により、活動団体数の維持に繋がった。 映像等の記録を作成し、伝統芸能の保存・継承に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 上演会開催や補助事業等により、民俗芸能の普及と活動支援に努める。 映像等の記録作成・保存を行い、伝統芸能の保存・継承に繋げる。 民俗資料館における民俗芸能関連の展示・活動の充実。 	文化財課 文化財係		B																												
	R 3	R 4	R 5	R 6																																																				
団体数	60	60	60	60																																																				
	R 3	R 4	R 5	R 6																																																				
団体数	-	4	2	2																																																				
4-1-2-2	文化財保護事業補助事業	・指定等文化財の維持管理や保護活動を行う個人や団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> 指定等文化財や登録有形文化財の修復、消防設備設置、保護活動などに対する補助金の交付を行った。 <p>○市指定文化財保護事業補助金実績</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>内 訳</th> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>文化財修復等4件、文化財保存活動団体に対する補助8件、重要建物修理修景事業3件</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>文化財修復等6件、文化財保存活動団体に対する補助6件、重要建物修理修景事業7件</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>文化財修復等2件、文化財保存活動団体に対する補助6件、重要建物修理修景事業4件</td> </tr> <tr> <td>R 6</td> <td>文化財保存活動団体に対する補助4件、重要建物修理修景事業4件</td> </tr> </table>	年度	内 訳	R 3	文化財修復等4件、文化財保存活動団体に対する補助8件、重要建物修理修景事業3件	R 4	文化財修復等6件、文化財保存活動団体に対する補助6件、重要建物修理修景事業7件	R 5	文化財修復等2件、文化財保存活動団体に対する補助6件、重要建物修理修景事業4件	R 6	文化財保存活動団体に対する補助4件、重要建物修理修景事業4件	<ul style="list-style-type: none"> 補助事業の活用により、文化財修復の促進に寄与した。 国の補助対象外となる重要建物の修繕等に対し、市の補助金を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財修復について、自己負担分費用をねん出できず、断念するケースも散見される。 	文化財課 文化財係																																								
年度	内 訳																																																							
R 3	文化財修復等4件、文化財保存活動団体に対する補助8件、重要建物修理修景事業3件																																																							
R 4	文化財修復等6件、文化財保存活動団体に対する補助6件、重要建物修理修景事業7件																																																							
R 5	文化財修復等2件、文化財保存活動団体に対する補助6件、重要建物修理修景事業4件																																																							
R 6	文化財保存活動団体に対する補助4件、重要建物修理修景事業4件																																																							
4-2-1-1	骨寺村荘園遺跡保全活用事業	<ul style="list-style-type: none"> 小区画水田保全活用方針に基づく各種事業の実施 骨寺村荘園遺跡整備活用基本計画に基づく保存活用 	<ul style="list-style-type: none"> 土水路整備作業の参加者数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3実績</td> <td>R 4実績</td> <td>R 5実績</td> <td>R 6実績</td> <td>R 7実績</td> </tr> <tr> <td>春 季</td> <td>168</td> <td>156</td> <td>150</td> <td>159</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>秋 季</td> <td>162</td> <td>156</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>160</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 体験交流会参加者数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3実績</td> <td>R 4実績</td> <td>R 5実績</td> <td>R 6実績</td> <td>R 7実績</td> </tr> <tr> <td>田植え</td> <td>93</td> <td>110</td> <td>123</td> <td>162</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>稲刈り</td> <td>85</td> <td>135</td> <td>135</td> <td>150</td> <td>160</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 講演会参加者数 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3実績</td> <td>R 4実績</td> <td>R 5実績</td> <td>R 6実績</td> <td>R 7実績</td> </tr> <tr> <td></td> <td>22</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>36</td> <td>40</td> </tr> </table>		R 3実績	R 4実績	R 5実績	R 6実績	R 7実績	春 季	168	156	150	159	160	秋 季	162	156	150	150	160		R 3実績	R 4実績	R 5実績	R 6実績	R 7実績	田植え	93	110	123	162	160	稲刈り	85	135	135	150	160		R 3実績	R 4実績	R 5実績	R 6実績	R 7実績		22	31	35	36	40	<ul style="list-style-type: none"> 景観維持保全作業や農作業体験により、遺跡保護や景観保全に対する理解が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡の保存活用には水田営農継続と生活基盤の安定が必須であり、後継者対策や営農支援が必要である。 	骨寺荘園室	42	B
	R 3実績	R 4実績	R 5実績	R 6実績	R 7実績																																																			
春 季	168	156	150	159	160																																																			
秋 季	162	156	150	150	160																																																			
	R 3実績	R 4実績	R 5実績	R 6実績	R 7実績																																																			
田植え	93	110	123	162	160																																																			
稲刈り	85	135	135	150	160																																																			
	R 3実績	R 4実績	R 5実績	R 6実績	R 7実績																																																			
	22	31	35	36	40																																																			
4-2-1-2	文化的景観保護推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 「一関本寺の農村景観」の構成要素である重要建物に係る修理・修景 史跡と重要文化的景観の一体的な保存管理 	<p>該当なし。</p> <p>○重要建物修理・修景実績（件）</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> </tr> <tr> <td>修理・修景</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	区分	R 3	R 4	R 5	R 6	修理・修景	0	0	0	0	(該当なし)	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助制度の対象基準が厳しく、該当する建物の修繕が少ない。 国は補助制度への移行を推奨しているが、補助率が低下するため、国庫補助事業は分担金制度を継続している。 	文化財課 文化財係																																								
区分	R 3	R 4	R 5	R 6																																																				
修理・修景	0	0	0	0																																																				

事業No.	施策・事業名	事業概要	事業実績（具体的な取り組み）※令和7年度分は見込みとする。	事業成果	事業課題	担当課・係	頁	R7評価																																																																		
4-2-1-3	骨寺村荘園遺跡情報発信事業	・骨寺村荘園交流施設を核とし、農作業体験や遺跡探訪など骨寺村荘園遺跡の価値や魅力を情報発信	<p>・骨寺村荘園交流施設利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>若神子亭</td> <td>23,337</td> <td>26,603</td> <td>25,196</td> <td>25,097</td> <td>26,000</td> </tr> <tr> <td>古曲田家</td> <td>1,098</td> <td>1,505</td> <td>1,355</td> <td>1,194</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>・小区画水田を活用した田植えや稲刈りの体験交流会参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田植え</td> <td>93</td> <td>110</td> <td>123</td> <td>162</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>稲刈り</td> <td>85</td> <td>135</td> <td>135</td> <td>150</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table> <p>・骨寺大学や村落調査研究報告会の参加者数：延べ人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>101</td> <td>101</td> <td>92</td> <td>47</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>・学びの里、探訪事業参加者数：延べ人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>探訪事業</td> <td>131</td> <td>91</td> <td>118</td> <td>125</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>学びの里</td> <td>107</td> <td>92</td> <td>99</td> <td>131</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table>		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	若神子亭	23,337	26,603	25,196	25,097	26,000	古曲田家	1,098	1,505	1,355	1,194	1,200		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	田植え	93	110	123	162	160	稲刈り	85	135	135	150	160		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績		101	101	92	47	50		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	探訪事業	131	91	118	125	130	学びの里	107	92	99	131	130	<p>・各種行事等の開催により、来訪者との交流促進や広く骨寺村荘園遺跡の価値と魅力の周知が図られた。</p>	<p>・引き続き地元本寺の関係団体と連携しながら骨寺村荘園遺跡の価値と魅力を効果的に発信していく必要がある。</p> <p>・講演会や各種行事等の開催により、遺跡に対する市民や来訪者の理解をさらに深めていく必要がある。</p>	骨寺荘園室		B
	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績																																																																					
若神子亭	23,337	26,603	25,196	25,097	26,000																																																																					
古曲田家	1,098	1,505	1,355	1,194	1,200																																																																					
	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績																																																																					
田植え	93	110	123	162	160																																																																					
稲刈り	85	135	135	150	160																																																																					
	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績																																																																					
	101	101	92	47	50																																																																					
	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績																																																																					
探訪事業	131	91	118	125	130																																																																					
学びの里	107	92	99	131	130																																																																					
4-2-3-1	骨寺村荘園遺跡世界遺産登録推進事業	<p>・世界遺産拡張登録に向けた県、関係市町と連携した拡張登録推薦準備作業の実施</p> <p>・重点的な考古学的調査及び文研研究等の実施</p> <p>・骨寺村荘園に関する講演会やシンポジウム等の開催</p>	<p>・拡張登録に向けた集中的な調査研究を推進</p> <p>・県・関係市町と連携し、拡張登録検討委員会を開催</p> <p>・拡張登録に係る、県と関係市町の代表者会議（申合せ）を開催</p> <p>・「骨寺大学」や「村落調査研究報告会」を開催</p> <p>・骨寺大学や村落調査研究報告会の参加者数：延べ人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>101</td> <td>101</td> <td>92</td> <td>47</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>・講演会を開催</p> <p>・講演会の参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>22</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>36</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績		101	101	92	47	50		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績		22	31	35	36	40	<p>・世界遺産拡張登録の取組みは一区切りとなったが、考古学的調査と文献調査を重点的に進め、調査研究成果の蓄積により資産価値の向上に繋がった。</p> <p>・講演会等の開催により、遺跡への理解が深まり、保護意識が高まった。</p>	<p>・世界遺産「平泉」と関連資産を「ひらいずみ遺産」と位置付け、一体的な保存活用等を推進する。</p> <p>・更なる価値向上と将来的な拡張登録に向けた調査研究を継続していく。</p>	骨寺荘園室		B																																										
	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績																																																																					
	101	101	92	47	50																																																																					
	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績																																																																					
	22	31	35	36	40																																																																					
4-2-3-2	ときめき世界遺産塾負担金	<p>・県南教育事務所管内の児童生徒を対象とした「ときめき世界遺産塾」の開催</p>	<p>ときめき世界遺産塾（5回講座）の開催</p> <p>・ときめき世界遺産塾参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>中止</td> <td>7</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績		中止	7	29	30	30	<p>・「平泉の文化遺産」をはじめとする郷土の歴史・文化への理解を深め、郷土の宝を守り育てる機運が醸成された。</p>	<p>・R7年度から「ひらいずみ遺産塾」と改称され、「ひらいずみ遺産」の学習を通じ、郷土の歴史や文化について守り伝えるリーダーを育成していく。</p>	骨寺荘園室																																																								
	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績																																																																					
	中止	7	29	30	30																																																																					

第2回検討委員会 ワークショップ概要及び進め方

1. 開催概要

- 日時：9月4日
- 場所：一関市役所花泉支所2階 201 会議室・202 会議室 203 会議室
- 形式：ワークショップ

2. ワークショップの目的 今回のワークショップは、今後の教育施策の方向性を探るため、皆様から広くご意見をいただくことを目的としています。

- 「学校教育」「社会教育・文化財」の分野別に、現状の課題や今後の展望についてお話しいただきます。
- 活発な意見交換が最も重要です。意見を集約したり、一つの結論を導き出したりする場ではありませんので、自由な発想でご発言ください。
- 委員長及び副委員長もワークショップに参加いただきます。

3. 当日の進め方

1. はじめに

- 第1回委員会の議論を簡単に振り返り、計画全体の目的を皆様と再確認します。
- 本日のワークショップの進め方についてご説明します。

2. グループワーク

- 「学校教育①」「学校教育②」「社会教育・文化財」のグループに分かれて協議します。
- 「確かな学力」「豊かな心」といった大きなテーマごとに、現状の課題や「こうあるべきだ」といった今後の方向性についてご意見を伺います。
- お手元の資料（事業評価シート）を参考に、幅広い視点からのご意見をお聞かせください。

3. 分野を越えた意見交換

- 議論の最後に、ご自身の専門分野以外のテーマについてご意見をいただく時間を設けます。

4. 皆様へのお願い

- 所属するグループのテーマに限らず、市の教育全体を見据えたご意見を歓迎します。学校教育の専門家から社会教育へ、社会教育の専門家から学校教育へのご意見もお待ちしております。
- 義務教育段階に限らず、高校段階以降の人材育成に関するご意見もぜひお聞かせください。
- 時間内に発言しきれなかったご意見については、後日書面でご提出いただくことも可能です。